Institute of Chemical desta 6 oole-	4¤	樹	-₩	#	¢≎≅	##	#		1 -44	احد ا	.	· ntc	n este		
mical	発買			九岳	7 日 6 番 19 号 5 1. 1 (代表) 7 5(配置号 112	开谷士	光谷	式 会		-	E	u		核以医医を停ず NDC 439.3	
37) to	典籍前	··		既称		製纸株	八林	記林	4	经 称	¥	被	田	1年2年1	
47.4.4	化学大辞典	茶	₩	计计	東京第文名医小日本(尼 本 東 京 1347) 2 西韓11度 00110-2-57035	主機	洋クロ	日本日	₩		楪	森	1		
년 .		扭	**	*		#+	₩			· E	*	4	無	PRINTED IN JAPAN	
È	馬	有名	四	作 班	u Shuppe Co., (td.	本文用概	破れクロス	本文字隔印刷	蚎	3	_		nes	UNITED	
19,79	B.	张	둅	e	Eyoritsu Shuppan Co., itd.	10	gg.	*		躁	24	3 4		H.	

Chemical dota book 3

股

1000℃以下

1800。C以上

Biz 03 (820°C).

F

V2 05 (690°C)

(2°00°C)

Sb203 (?)

ARz 03 (1999~2032°C)

CoO (1938°C) Ba (1923°C)

TiO2 (1640°C) (3)

ZrO2 (2700°C)

P2 03 (

Taz05 (?)

(577%)

Bz 03

Cr203 (1990°C)

La2 03 (2900°C)

自然科学费協会 9 R

ISBN4-320-01017-1

アジィロゲントドシンのペンオン部校にナトックイを置えて影響する。 この名称で総称される化合物には次の3種がある。[1] 酸化アルギルヒ紫 製法 アルギ ソアルカン [再alkylarsenic oxide, arsenom Alkylarsenoxyd. Arsenosoalkan] RA₅0 oalkane

[2] 敬化セス(ジアルキルヒ菜) [森bis(di-(R-As)10 alkylarsenic) oxide] 製法 ジ [3] 酸化トリアルキルアルシン [*trial· キルアルシンの空気酸化または硝酸 アルギルアルシンを水酸化ナトリ トリイル 酸化トリメチルプ (和晚午代料) カム溶液で加水分解する、例 酸化カコジル 岡 酸化メチルヒ紫、酸化エチルヒ紫 R_{\$}AsO kylarsine oxide] 機器 による酸化で得られる。例 アシン

ものには大の2個がある。[1] 酸化シブルキトのには大の2個がある。[1] 酸化シブルキ RiHPO ルホスフィン [**dialkylphosphine RiHPO oxide] 製法 ジアルキルホスフィ -ルタロリド RiPOCI に水紫化アルミニウム [2] 敬化トリアルキルホスフィン [共tri-リアルキルホスフィンを空気酸化す Alkylphosphoroxyd] この名称で総称される 数化 アルキルリン [*alkylphosphine oxide, al kylphosphorus oxide #Alkylphosphinoxyd. 州職 さんかアルキルホスフィン 酸化----, リチウムを作用させる。性質 下孜杉原. alkylphosphine oxide] R,PO

成品性の件状 品: 離点 38・ 第点260~255 集色の祖記・ 記念 52・第 点 243・ 選別体の指数・ 関点 138・第 点 215 養命の結局。 器点 65~66。 (分類) 兼告の転配・ 番点 76.5° (昭峰千代和) 存状 分子双 C, 2H2, OP C, HasOP CoH310P C₀H₁₁OP C₃H₀OP 位化トリエチルホスフィン Ctipropylphosphine (tripropylphosphine) 位化トリメチルホスフィン 配化ジーキシルホスフィン (dihexyiphosphine oxide) 有一位 计数存配 優化ジア 4 ルホスフィン (diamylphosphine æ

さんかアルキルリん 酸化——燐 [*alkyl· # Alkylphosphoroxyd] 酸化アルギルホスフィン phosphorus oxide

Atrihydric alcohol, triatomic alcohol, triol 1分子内 に3個の木製描かも0アルコールをいう. 代数 トリギーグ 也な川田アルコールはグリセリン*である. || || || || || mdreiwertiger Alkohol, Triol] んかアルコール アルコール

存在 酸化アルミニウムは天然にコランボム。 さんかフルミニウム 酸化—— [*aluminum $Al_2O_3 = 101.96$ ■ Aluminiumoxyd] oxide

マグネシウム,活性アルミナ,酸化パリウムの

フッ化ナトリウムとともに触

順で少なくなる.

解させて電解すると金属アルミニウムが得られ

□ ウムを沈殿させてロ過し、それを強烈すれば 毎のれる、工衆的にはパイヤー班*とよばれる 方法が最も広く用いられている(→ フルミナ の工業的製法)、精治・性質・全種が簡が知ら れている・ナベス種色まれば自命、がに不確。 ボーキサイトと終係される監動として多量に存在する。 工業での債用名アルミナ。 製法 可移性のプルミナ・製法 可移性のアルミニウム塩の水溶液から水酸化アルミ であり、またルピーやサファイアーは酸化アルミニウムにコン跡の置金属がはいって着色して いるものである.更に水和酸化アルミニウムは

いわゆる活性アルミナとなり吸激剤や蝴蝶となる。 独権機能やアルタリに直ちに溶解する。 そこで、これがファミーウェイを句の知道原料とてった。 三水化 カーア・ライは 天然には存在している。 三水化 カーア・ライは 天然には存在したい。 これは アルミットリウェル 20 ~30°で 七二酸に従来で急越に中和したり。またファミーウム塩の水溶液を中和社関させると生 て存在する。約150°以上で水を放出しはじめ300°で急に水を失う。適当な温度に加熱すると ルミナはパイヤー街で加水分解させて沈暇させ たときの物質であるし,天然にもギブス石とし

もある。 エチルフルコールをコチンンにする1 うな観末反応や、 石油の熱分解、 興柱化反応、 観水装反応、 脱イオウ反応などの酸媒として用 するものであるが不安定であり、アルカリ性水浴液中では三水化の アルミナになってしまり、酸化フルミーウムは 触媒作用 や毀奪作用が当 い、その一つの理由は活性アルミナとよばれる設化アルミニウムは、単位質量当りの表面的がきわめて大きい(1g 当り 100~400 m²) ため いられている。吸着作用の点では空気を乾燥させる値力を倒にとると、殺留水分は無水塩化カルシウム、シリカゲル、生石灰、無水過塩素酸

[*beryllium aluminum oxide aluminiumoxyd] (BeO₂) 3. 用油 実験室では有機商権の脱水精製、クロマトグラン用吸着剤などに用いられる。工業的には金属アルミニウムやアルミニウム代合物の原料であり、また植様、吸着剤、耐火材、研 (米一端後) 単材などとして用いられる。

#Beryllium-

製化一

さんかアルミニウムヘリリウム

AlsOs 3 BeO ★たは Als

■ ペリリウム酸アルミニウム

と考えられたこともあるが、酸化アルミョウムマグキンウムと同形の複酸化物である、アエンスピネルとして天然に確出されるものの主成分である。 製法 アンモニア性の酸化亜鉛の水溶液にアルミン酸カリウムの飽和溶液を加えると きんかアルミニウムあえん 酸化——亜鉛 [**zinc aluminum oxide 歯Zinkaluminium. oxyd] ZnO·AlsOa=183.34. メタアルミン 枕観する。また同皮分酸化物を適当な脳刺を用いて脳解しても得られる。性質 メビネル型機 種*の立方体結晶・n 1.765, d 約 4.5 水晶上 散亜鉛 (* zinc meta-aluminate) Zn(AlO₂)₃

アルミン酸マグネシウム(Amagnesium aluminate) あるいはメタアルミン酸マグネシウム

(* magnesium meta-aluminate)とよばれる

Mg(AlO₂) 2 に相当する組成をもっているので

Magnesi-

MgO. Al₂O₃=142. 28

観作ー

さんかフルミニウムマグネシウム

[*magnesium aluminum oxide

umaluminiumoxyd]

ことがある。しかしこの物質は韓戌単位としてA10s- イオンな合んでいないから、奴殺化物と考えるべきである(一・スピネル型構造)。 天然にスピネルとして産出する。製法、酸化アルミーウム、酸化・グネシウムおよびホウ酸を自然

ウムを木炭末と続結し、かたまりを水蒸気塩中で加熱強元し、更に木炭を加え二酸化炭素気流中で燃く、性質 面心立方格子のいわゆるスピネル四群落*をもつ無色の結晶、移動品形に図

色する. 423.55, モースカタサ 8. 融点 2135

色の典しい

含めて)にはほとんど促されない.

さんかアンチモン 酸化—— [英antimony

oxide MAntimonoxyd]

アンチホンの酸化

物の総称、次の3種の化合物が知られている。 [1] 三酸化ニアンチェン* [*diantimony trioxide **a Diantimontrioxyd] Sb-04. [2] 四酸化ニアンチェン* [*diantimony

ſ Ædiantimony [* diantimony

tetroxide MDiantimontetroxyd] SbaO4.

[3] 五酸化ニアンチモン*

し,格子定数 a 8.059 Å. 微量不純物の存在で音 ±20°. 化学的に不活性で, 酸(フッ化水素酸も ものは宝石, 飾石に用いることがある. (斎藤一央)

つくる場合は塩化マグネシウムと塩化アルミニ

融解し,塩酸で処理すると得られる。また大量

さんかフルミニウムコバルト 酸化— [本 cobalt aluminum oxide mKobaltaluminum-oxyd] 17 世紀の初めから、コバルトの塩類と アルミナとを塑熱すると背色の物質が生じ、リ アルミナとを塑料すると背色の物質が生じ、リ アルミナとを強めコバルトを用いるとその色 が致しくなることが知られており、その物質が チナール背*とよばれている。この主成分が酸化 アルミコクムコバルト[I] (*cobalt[II) alumi・ 9壁い。酸やアルカリに事実上不裕。(斎藤-夬)

num oxide)であって,アルミン酸コパルト(II) 葡の化合物が報告されている. [1] CoO·Als 0=176.90. メタアルミン酸コバルト(Ⅱ) (≒ cobalt(II) meta-aluminate) Co(AlOs); 2等 #ウ酸または塩化カリウム(脳剤)の混合物を強 6人のモル比1:2の遅合物を強熱する. 構造・ 4 CoO·3 AlsOs=605.64. 酸化コパル りAから [1] の場合とほとんど同様にしてつ (られる. 固溶体ともいわれ, 化合物としての (*cobalt(II) aluminate)とも上ばれ、次の2 キシウムと同形の複酸化物である。 製法 1) 酸化コパルト(II), 酸化アルミニウム, および ト(Ⅱ)あるいはコパルト(Ⅱ)塩と酸化アルミニ 島する. 2) 硝酸コパルト(II)と硝酸アルミコ えられたこともあるが,酸化アルミニウムマグ **性質 彼背色正八面体形結晶 スピネル型構造*.** 格子定数 a 8.06 Å. 融点 1700~1800°, d 4.57.

〈石油製品〉 Aoxidation stability BOxydationsbestän-(石森建二郎) pentoxide @Diantimonpentoxyd] Sb20. 酸化安定度 さんかあんていど

digkeit] 石油製品が空気酸化による劣化に 超抗する性質、石油製品の強要な性質の一つで ある、これは石油製品が貯蔵時あるいは使用時 に空気酸化を受け、製造時に初られた物理化学

(米ー爆楽)

FAC 味わしい

		:	#	J.	÷	~	-		-	<u>~</u>	÷	~		i
		•	4								1, 1,750	ng 1.566, nr 1.587		
		4	1		/b8					1. 524	702, ng 1.722, my	.58	1	
		£	B	000		7. E.G	n 1.696		200	nengent 1.	na 1.702, np	na 1.566, np	•	
•		ĸ	٥	8	2	6.77	ļ				2.82	9.69	1	
6	1	K K	9	L	•		İ	1	_	= '	oi :	5.06	İ	-
4		9	0	13	3 4	9	9	100			3	8.62	1	
4	-	なられ		444	27 7 may 5. 12	?:	ク型な	おお	ī		È	*	1	
ほた ノケ こ コウ 人の 僧一		F 40 40	۱	297/4					# 4 · Y	1	E - 1	1 × ×	ハイアーライト	
	1	た ギ 光		#-A1.0.	8-ALO.		S C		a-A1,0, H,0	8-A1.0.H.O	A10.3u		064 5. 60614	Court William
	å	Ė		4774	7111	7.8.4		L: 4/	一本化のフルミナ	本化月アルミナ	RaTht+	40 7 4 B 4 X 1	, , , ,	3 4. 14. 14. 00.
	*	P		4	8 7	,		>	-* -*	-*(F	=*(k	947#=		

0m+00+7v

塩化アルミニウム AICIs・6 HaO を 250° に加熱して得られるものを 8 アルミナ(d 2.4)と上ぶ.

9 ジウムを水酸化カリウムおよび硫酸カリウムと強性する、2) 水酸化カリウムを合むイリジウムを破壊中で回動する、3) 常色の強アルカリ生酸化イリジウム(N) 水溶液を 20・円級 地位酸化イリジウム(N) 水溶液を 20・円級 地元いない また 体質 アルカリを合まれたいものは初め、17.2 以上のもったない、 東西 (19.9 %) 、 地域化液では酸により成ちに酸媒を発性し、 環膜 にカルコールを倒にする 機合は 6面イリジウム

この設化物を得たという報告もあるが認めされていた、イッシャル部的を数数中で 775 にていた、イッシャル部的を数数中で 775 につ動たるとの様に指表するが、冷却すると分解って二酸化物が折出する、イッシャルと水あるには二酸化炭素との 2000 における反応生成物(としても四酸化物が反応されている: 型中でイリジケム版を複動すると国典が成少する、保援さないは監接のような不高在な成本のには成少しない、配代イリジャ(N)は不解発 在であらから、この回園成少はおそのく籍窓在 他であらから、この田園成少はおそのく籍窓在 しょうかん(N)を超級中で 350° に加熱して tetr-IrO4=256.2. 酸 [* iridium oxide talridiumtetroxyd] を合むか、過酸化物が不明. [5] 四酸化イリジケム

4CO1+Ir -- 4CO+IrO1 4H10+1r -- 4H1+1r0.

木格液中で組織している部分と、していない部分との間に成立している化学平衡を組織平衡とよんでいるが、一般に弱電解質に対して質量作品の無別が適用できることを契約的に示したの用の任明が適用できることを契約的に示したのは、M. Ostwald (1888 年)であった。弱電解質は M. Ostwald (1888 年)であった。弱電解質 は M. Ostwald (1888 年)であった。 konstante] 数の電線平衡*の平衡記数*であって動の数さを示す尺度の一つ(この値が大きいほど強い数である)、塩苗解離記数(本base dissociation constant)に対する語、電解質の 酸解離定数 [Asacid # Säuredissoziations-(五百年) さんかいりていすう dissociation constant

で示すとき,酸解離定数は次の式で定義される. HA で扱わし、その配盤平衡を [H+][A-] HA --- H'+A-202

ここに [H*] (A.] (HA) はそれでもつって つまたは分子の資度を扱わす。正確にいると、 話量(一・イナンの活動)を用いて次の式で定義 されるものであるが、希痛溶液では活盘を濃度 に置き換えることができるので上式を用いることが多い。 [A-], [HA] はそれぞれのイオ ja P Ē

塩基解離定数も同数にして次のように定殺される(塩基を BOH で扱わす). (a:各化学機の括量) K. = aH.a. **QHY**

-HO+-R == HOH-

k_b= [B+][OH-]

金属ウランの表面部が酸素と反応してこの化合物を生成することがX級回折によって知られて

uranium(IV) oxide, uranium dioxide 12 Uran

[2] 酸化ウラン(N), 二酸化ウラン

いるが、まだ単離されていない。

an-don-正確には Kb=-

お敬および多酸塩店に対しては、各段語の電離に対して酸解離記数はよび塩基解離記数が与えられる。 塩酸や硝酸のような強酸や水酸化カリケムのような強塩がは前記のような質能作用の表別で適用することはできない、 たとえあてはかてみても一定の K は得られない。 (84 年) As. As は厳密には凌電によって左右される) これらを単に解離記数または『種語数*ともい うが、同性を示す物質の場合には条件により本 教イオンまたは水酸イオンを生ずるような電離 が起こるから、酸解離記数、塩基解離記数とよ んで両名を区別したければなられい、また多塩 これらの定数は一定温度においては酸あるいは塩枯の濃度に関係のない一定数 である(ただし **GBOH**

245.64、酸化インジウム(回)を水炭気流中で40℃以下に加熱してから其空中で750°まで加配すると昇華してくる、吸過性なく、冷水とは作用しないがうすい酸にありと水漿を発生して落け、In*を生ずる **値および3値の酸化物が均られている.2値の化合物は存在しないと考えられている.酸化**イ ンジケム(田)を単に酸化インジケムともいう. [1] 酸化インジケム(1), 酸化第一インジケム (素indium(1) oxide, indous oxide m Judium(1)-oxyd, Indium-oxydul] InO-[* indium インジウムだは1 製作ー oxide @Indiumoxyd] さんかインジウム

| 1.2 | 酸化インジウム(国), 酸化路コインジ ウム、三酸化コインジウム、三二酸化インジウ は | Midium(国) oxide, indic oxide, dindium trioxide, indium sesquioxide 壁ladium(国)-oxyd | fn₁O₃=277.64 製法、インジウム(国) は | MinO₃=277.64 製法、インジウム(国) ソジウム(国)を、空気中で終くと生成する質色の固体、性質、過度を高めると色は濃くなる・海路をなる。以上といわれる・

つくる.純粋なものは精製した硝酸クラニルを

ようなものがあるが、普通三酸化ウランまたは 八酸化三クランをいうことが多い、水化物につ [*uranium oxide 人間にコンフンない。ここに、人間にコンタンを参いては木酸化ウラニルまたは木酸化ウランを参加している。 まんカラン(工) 一般化ウラン [美田 にこ) なみカラン(工) カランと観察の化合物. 次の Uran(II)-oxyd, Uranmonoxyd] UO=254.07. 照. [1] 酸化ウラン(II), 一酸化ウラン uranium(II) oxide, uranium monoxide さんかウラン 酸化---₩ Uranoxyd]

が、濃酸と暖めれば溶ける。硝酸に溶けて硝酸

じ, フッ化水紫水によってフッ化

カラニルを生

uranium(M) oxide, uranium trioxide @ Uran 八酸化三カランを商圧の酸紫とともに高

Urantrioxyd]

)-oxyd,

[4] 酸化ウラン(VL), 三酸化ウラ

カラニルと四フッ化カランになる.

 $UO_s = 286.07$

帝 高に加熱して得られる。強敵ウラニルの熱分解 たよって得たものは不純物として窒素化合物を 合んでいるので、練り返し水と範囲してのも加 解脱水する。性質・製技によって質色がしょ アング色または深赤色。 47.54 吸過性が強い、 水素中で熱すると徐々に超元されて一酸化物に はる。 収集とともに熱すると以来の趣によって はる。 収集とともに熱するとはなるのがある。 はる、収集とともに熱するとはなるのがある。 ある。 14.40 かりかりを画しましても はる。 14.40 かりかりと 与える. (N)-oxyd, Urandioxyd] UO₁=270.07. 製法 八般化ニウランまたは酸化ウラン(U)を其 空中あるいば解究気値中で高部に加熱して得られる。その他値へのウラン塩、ウラニル塩を適当な気体中で高温に売れるとそに生成する。 構造 無定形のものと結晶性のものがあるが, 結晶性のものはホタル石型 構造。格子定数 a

[5] 過酸化クラン*[*uranium peroxide] [*ethyl oxide (中西正位) エチルメーサル さんかエチル 酸化---#Athyloxyd]

> 0.0007 Å. 性質 製法の相違によって一般にカ ッ色ないし黒色のいろいろの色鯛になる。純粋

な結晶状のものは微紺色粉末であるといわれ る. 題点は盤紫気流中で 2176。 4 10.96±0.01.

5.4581±0.0005 Å, 2000° LL TH 5.4610±

Š ペンポンでデイ状にした木酸化カリウムを二酸 į¥et ¥et AsO=120,製法 ジクロルエチルアルシンと 色の結晶性酸化物をすみやかに生成する. ylarsenic oxide #Athylarsenoxyd] 聚介——钨能 さんかエチルひそ 代が進む、フッ素は直接反応し、塩素は赤数した酸化カラン(N)と反応して、それぞれフッ化カラニルとよび塩化ウラニルを生ずる、炭器とは高温で炭化カランをつくる、アルカリ金属、カルンウム、マグネシウム、アルニーウムによって塩低ウランに適元される。 直路酸と 既 た反応して塩化ウラン(N)を生じ、希望酸と 殿 わればウラニル値となる。 強酸には溶解して 商

酸菜中では約 185° で八酸化三クランに酸化されるが, 空気中では赤熱以上の温度で徐々に酸

f *ethylene ox. **イヤフンオキシド** (集件十代和) 際作ー 1 さんかエチレン 敬ide 歯Äthylenoxyd]

[3] 人酸化三クラン, 八三酸化クラン, 酸 化クラン(N) クラン(N) [為triuranium oct-

酸ウランおよび硫酸ウラニルを生ずる.

oxide, uranouranic oxide, uranium(N) ura-

点約 3000。 48.640. 強熱中のものは強い縁 光を発する、冷水に不溶:熱酸に可溶、一般に加熱温度の高いものほど溶けにくい、塩化アン 法 エルピウムの水酸化物, 塩基性硝酸塩, 硫酸塩, シュウ酸塩化ビを強熱すると得られる. 性質 赤斑色. 結晶は等軸晶系に属し, 酸化ス カンジウム型模造*, 格子定数 a 10.54 A. 静 チェウム熱溶液にはアンチェアを発生して溶け (安田世紀) ェルビウムの水酸化物, 塩基性硝酸塩, $Er_{1}O_{1} = 382.$ る.水漿によって強元されない. 関化 oxide @Erbiumoxyd] さんかエルビウム nium(W) oxide 地Triuran-octoxyd, Urano-uranioxyd, Uran(W)-Uran(W)-Oxyd) U₆O₆ = 842.21, U₉-2 U₉O₉ の超成に相当するので 4 値かランと 6 値かランン 酸化物 とった なた 5. 整法 金属ケランタたは他のすべての酸化 ウランは空気中で強勢すればこの 6 のに 変わ る. 普通はニケラン酸アンモニウムを強船して

外校)、 超元校*とともに 応式分析*に 臨々 利用される。 (1) 吹笛分析*では強く吹きつける 随語かつ明確な酸化校や超元校を得ようとする アクリュパーナーの外交は松暁生成物である二 酸化炭素や木のほかに高温の酸素が含まれているので、酸化性があり酸化炎ともよばれる(一 **炎が得られ,また吹管の先端をパーナーロの上** が,そのときはプンポンパーナーの仮を小さく 杓 1cm に保ち,炎の中に入れず歯から吹くと [#oxidizing インオンド 先端を炎の中に磨し入れて吹けば被倒 てかつ空気口をほとんど閉じてか さんかえん 酸化炎 ₩Oxydationsflamme] 回折の実験によって一定した明確な結晶構造を示さないことが知られている。 位置 製法の相違によって暗録色ないし風色の領々のものがある。 47.9~8.5.1300° で昇華する。 高温で水 高温に熟してつくることができる. 構造 X袋 **繋によって二酸化物に遠元される.比較的低温でつくられた八酸化三ウランは空気中で長時間** 熱すると酸化ウラン(W)に酸化される. うすい 塩酸や硫酸には,低温ではほとんど溶解しない

(2) 炉内燃焼においては,空気比が1以上または相当大きい場合の火炎をいう. 多くの場 やはり横倒しの避元炎が得られる。

897

サンカH

サンセクロ

帝水に不裕、アンキコア水に可称、強却酸にも裕け、これを水でうすめると再び折出する。 数国職には酸素を出して分解する。用金 分析 用技験:酸化剤としてマンガン(II), フロト (日), セリウム(日)をそれぞれマンガン(M), タロム(N), セリウム(N)にまで酸化するとき 用いる. 分析で用いられる酸化剤の中では最も 強い酸化剤である. なる。製法 銀にオゾンを図かせるか。または民酸銀谷液にヘルオクソニ菌酸アンキニウムを 加える, 住置 灰肌色粉末, 4, 7.483, 100°以 で領と酸素とに分解、強酸化剤として働く、 値の鏡の過酸化物 AgrOs

[3] Ag₂O₃=263.76, 何の陽面数化により Ag₂O₃:2AgO なるものが 得られる。加固により侵袭を放ち AgO となる。 → 過限化額

[# silver (##·u+) んかぎんでんち 酸化銀電池

域化数が使用され、この契用化は第二次世界大数に数が使力が一、電路、正面は酸化級砂米市物質を表でなって、電路、正面は酸化級砂米市物質を大きなイント状とし、お 50 メッツリの数またはニッケンメッキの数の細の粘子上にお路底池*のよっドの部布によって、5 下部布しては深したもの。またはこれが一般然に超光し、カイン・ダー 四低間に薄い低状隔離板*を置いて超み立て、 電解波に 20~45米水酸化シリケム溶液を用い た低池、酸を電池に 用いることは 150 年ほど 前から A. Volta らによって戻みられた。それ 数化纸粉 亜鉛板または粉末を成形したものを負値とし、 から半世紀後一次電池の域極期として酸化鏡、 oxide cell magilberoxyd-zelle」 取化Mit 末で活物質*として成形化成したものを正面。 ⊞ Silberoxyd-zelle]

なんたもの、格子に回的水水・ストとしておったものなどのある。 語彙故にはセッソ、不存住結婚者の処理した鍵様状ガラス、ガッカー、もの種のフラスチック者、フメスストの中により間に13~15V、故間に関しては、大幅流像技に適し、はぼしてに回復に数してもの。 最近一次電池としての研究が行なりまた。 最近一次電池としての研究が行なりまた。 最近一次電池としての研究が行なりまた。 最近一次電池としての研究が行なりまた。 最近一次電池としての研究が行なり 現在の報信機の 10 番には、光数電は数十回ぐらいまでもも。 面部は 単れの路にある 10 番には 10 munit 10 muni て東田化が期待される。テアビ版影像、画信 留, 水中兵器, 酵苺兵器などに用いられ, 将来 ロケット用として往目されている. (file)

cck] 成が円メイ形、球形をした化学域製器 具質を回路する際に用いられる三角形をした面のこと、おもパルクボが、ナー心部数する場のこと、おもパルクボル、ナール部数する場のに三部の上に置いて用いるのでルッボ用三角はよりまれる。数も世間のものは図(a)のよりに粘土製の管に問題引鉄線を通して三角形に 三角架 [Atriangle 曲Drei-さんかくか

る。図(b)は加熱物体との接触を極吸するため 磁製管の中央をくびり出した形のもの。図(c) はニタコム回角繁素だはフコメル三角線で装置 ねじり合わせたもので, 粘土三角架ともよばれ

どの加熱に適 (1)全体が陶器 白金ルツボな 数のものた路 が酸化されず → 2. 図(d 3

ものもある.これられいてれる四面にこれが、しても軟化しないため架上の路物が転落するウレても軟化しないに る。これらはいずれも超過用で、複数 ある. 同形で カキエイ製の ばれるもので 製三角架とよ

風部性*のうち、中心金属3個を有する結構の路路・あまり多くの例は知られていない。 次の 多数的 {★ trinuclear complex madreikernige Komplex] 三核館塩 さんかくさくえん しんや教行問がない.

(女和近一段)

[Crs ace(OH)2]X [Fes ace(OH)2]X (ac:)ルポン設基) ようなものがある.

န် လို 6

(H,N), Co < 0H > Co < 0H > Co (NH,),] Co_HO_CO_COHOLO (H,N), (H.)

CH,CH,NH,—Co,en,—NH,CH,CH,—N CH,CH,NH,--Coen,-NH,CH,CH,

で信辱的に過酸 化銀に化成*したものである。 負値は複状のほかに、網状格子上に亜鉛を低着

きに得られるものであって、構造の確定的な鵲物はまだないが、三枝鰭塩として著名である。 一般にクロム(田)塩、鉄(田)塩水溶液に脂肪族 および芳香族の各種カルボン酸を反応させると (中原原) このうちクロムおよび鉄のカルボン酸錯塩は, 群しくは各項を参照

ように正三角形の各辺を 10 等分した日盛を入 れ、三成分系の組成を扱わせるようにしたもの を三角図または三角座間という、三角形の各国 点には各純成分を置き、各辺に分乗されは百分 年の目盛を入れると、図中の任意の点PはA成 中の目酸を入れると、図中の任意の点PはA成 のり間成が a、B成分の組成が b、C成分の組 成が c であることを殺むし、a+b+c=1 また は 100%となる、これは、b c がそれぞれ正三 有形 EPD, AFE の菌さに等しく、a+b+c は さんかくざひょう 三角座標 [本triangular coordinate @Dreieckskoordinate]

윭

い三角れては前面圏の個俗が非常にゆるいので、これのの各圏を区別することはむずかしい、沈降運動が適当な速さで行なわれると安固圏が厚く発達することもある。地質時代の地層中にも三角州タイ酸物が多くみられる。 のかって資格し、他の部分よりも厚い、前回を越えた部かい砂々かは更に先力の版に状態して原国局からくるが、これは三角生が遊べ発達するにつれて大の前回層におおわれていく、大きなにつれて大の前回層におおわれていく、大き の前面のやや急な魚面にタイ骸するために神に 現には図1のような特殊方限紙 作に正三角形 ABC の高さに等しくなるからで このような表 三政分系 が必要かれって

ſAclay tri-さんかくは 三角波 [*triangular wave] 電圧または電流被形が三角形またはその模選 米田川 1 さんかくねんど 三角粘土 angle] 粘土三角架に同じ.

(新節点次型)

しになるようなものをいい、その苗閣殻*収分は国数項を欠く、非対称三角数の一種にキョ歯状を当り、オンログラフの福引用などに使用状徴があり、オンログラフの福引用などに使用

[* tri エルレンセイヤーフラスコ [# conica] [* Erlen さんかくへんぼうたい 三角偏方体 さんかくフラスコ 三角--beaker] 💳 コニカルピーカ E III さんかくアーカー meyer flask]

gonal trapezohedron matrigonales Trapezo-

あるいはエダノール蒸気を過ずる. 佐賀 照色 酸化する. 2) 酸化クロム(田)を赤熱して水穀 末、1000°で水紫を通げると金属となる。空 気中では酸化されやすく, 熱すると酸化タロム(田)となる. 希酸に不溶. 高温で二酸化炭紫を さんかクロム 酸化—— [*chromium oxide ロムアマルガムを空気中で熱するか, 希硝酸で 2 窟, 3 窟, 6 窟クァ 4 の代 Chrommonoxyd] CrO=68.01. 短饼 1) 》 通ずると炭化物と酸化クロム(皿)が得られる. #Chrom ium(II)-oxyd, Chromoxydul, Chromo-oxyd, ous oxide, chromium monoxide, ■ 三方偏四角面体 # Chromoxyd] eder

[2] 酸化クロム(皿), 酸化第二クロム, 三 酸化ニクロム,三二酸化クロム [ặchromium oxide, chromium sesquioxide 由Chrom(国)dichromium trioxyd, Chromioxyd, Dichromtrioxyd, Chrom-1) # ロム酸塩をイオウ、二酸化イオウ、デンプン グリセリン、ショ類などと熱して還元する. Cr20s=152.03. 製法 (III) oxide, chromic oxide, sesquioxyd

田クロ人間

過にとって P 点を定め れば、残り のB 放分の 超成はA, C が、図Ⅱのように母歯の方限数を使っても三段からした。 軸に, C 成 分の超成を 成の和を1または 100%から巻し引けば得られる. 三角座標は三成分系の合金の性質とか、抽出*における平衡の投示や計算に用いられる. さんかくす 三角桝 【英delta ma Delta】 可川が数または部のような上が(本体をstanding water)に社ぐところでは、可川の延樹力が感染 するために選んできたゆセッを感に可口に対観 わすことができ き, A成分 直角三角形 ABC を描 の超成を縦 成分の組 ナる.したがって回口は許く向かって掴め立てのれずに向かってトッ(凸)状に動しい暇越が形 市販されている # Delta] ナなわち 個樂 故者に、 野田配 四回四 赵 62 20

K₂Cr₂O₇+S -- K₅SO₄+Cr₅O₅. 2) いるのでこの原語が生まれた、形や大きさば結婚の変化、大致物の場や性質、海や経の深ま、 特下数、海湾、適水中の影響を強く強いもの で、既が不関したるか、またはきわめて徐々に 大麻十る様かな後い内蔵や破によく発強する。 三角出のタイ数が上中下に3分される、数国 Bは二角出の前端につれて可道のコケ配がのと 放されていく、このように向口に生ずる自然の 埋立地を三角州という。三角州では一般に回川 がいくつかに分岐して流れ、上流に頂点を向け た三角形を示して、ギリシャ文字の Δ に似て らないような、きわめてゆるいコウ配をもっ、神ほどうすくタイ徴する、前面層は三角州

タロム酸カリウムと塩化アンモニウムまたは ンモニサムなそのまま少量ずつ熱するか, 硫酸アンモニウムの磁合物を熱する.

2KC1+Cr3O3+N3+4H3O K,Cr,O,+2NH,Cl -

特なものを得ることができる。また4)の方法で で反応の完結すると専頭側的に自動する現象が みられる。 佐賀 無定形粉末は光沢ある緑色 店間路中で昇載させたものは、金属光沢を有す る風色ないし研録色六方品系、または三方品系 結晶、椅子定数 の5.38Å、の5450、のアル パリウム(II)を約する。6) オキツ塩化タロム(N), トリオクソクロロクロム酸塩などを強熱する。以上の5ち 2)または 3),4)の方法で約 タロム隆水銀(1)を熟する. 4) 水酸化タロ ム(m)を熱する. 5) 酸化クロム(W)と水酸化 放と熱するときにのみ溶ける

5 Cr301+6 BrO1-+2 H20 --

5 Crs0; +4 H++3 Brs

用途 クロムグリーンとして顔幹に用いられ、ガラス、陶器などの強色に使用やられる。 特に囲むとしては熱、外致、水などによる変化がほとんど見られないため、特に用途の多い顔がとなっている。そのほか呼降熱にも用いられる。 [3] 酸化クロム(W)、二酸化グロム [本 chromium(N) oxide, chromium dioxide is Chrom(N)-oxyd. Chromely Chrom(W)-oxyd, Chromdioxyd]

84.01. 製法 母級ショム(田)を熱するか、水 酸化ショム(田)を酸素気流中で300~400° に能 して切られるとされているが、明確ではない。 酸化ショム(M)の熱分解の中間過程として得られている、 体質 風カッ色粉末、 持品報道はルイル型鉄強で、 格子定数 の 4.41, 2.86Å. 強強性体である。

multrasy var v(v) [** chromium(v) oxide m Chrom(v)-oxyd] Crote=184.02. 数法 酸化ショム(W)を熱分解する. 性質 肌 カッ色粉末. 熱すればたやすく酸化ショム(E)

hydrid] CrOy=100.01. 製法 1) 製化タロム (田)を近圧観察と続する。2) 重クロム設カリ チュの境水溶液に透影の濃度限を加える。 位置 のより (重命色射状態・温度増大とともに暗色となる。 真方両スイ体 品・輸車 はこと。6=0.692:1: 10.628. 拮品質強1(CrO)の正四回体が通点を pra [Achromium(U) oxide, chromium trioxide, chromic (acid) anhydride &Chrom [5] 酸化クロム(N), 三酸化クロム, 無水 Chromsäurean-(W)-oxyd, Chromtrioxyd,

で、水に易符、水溶液はクロム酸である。溶解度 水 18°, 166g/100g. オツンでは過酸化物、過酸化水素ではベルオクソクロム酸となる。き 共有して一方向に並なり,この舒耐をファンデルワールメガでたばわたものである。結合固隔Cr-0 1.79~1.815 Å.4^{4.}2.629.脱点 196~ 198(やや分解)、強く熱すると赤色蒸気となる が分解して酸化クロム(皿)を生ずる、 御解性

ているが確定したものとはいえない. (中原的例)

ルイルンはコン・コース・エス・スーン は 化反応を示すが、アアルミナを組体とする機構 が設化水素の配水器、対容能化に広く用いられ も、また水素添加にも活性を示す、ファミフゲ ルとアルミナがルとを過った状態で採り合わせ もか、共代がで製造した機様はすぐれた活性を もか、共代で収割とした場様はすぐれた活性を ボナ・ブタンから毎個ブタンあるいはブタジー デオ・ブタンから毎個ブタンあるいはブタジー シタ数番用に乗用されている。使用中タールな と 模案質的質が折出して活性が低下するので、 企気を用い再生する。 さんかクロムしょくばい 酸化 — 触媒・クョミア始媒 [*chromium oxide catalyst, chromia catalyst ぬChromoxydkatalysator] ゲル状の酸化クロムは単味で脱水および異性

カ Phillips Petroleum Co. 駅の中圧洗ボリエキンン合成物線、製洗・シリカアルミナ 超体 (90:10)上に酸化ショム(U)を 2~3%付着におたものを、組合値前に空気中で 500° に続いて活性化する。 体質・用金 国合道 既 100~で活性化する。 体質・用金 国合道 既 100~で活性化する。 セロンド形質 psi で、エチンンを分子 このポリエチンンの分子量、枝分と度、結晶化度はこの触媒の活性化温度、重合温度、圧力に よった大幅に関節できる. この 物媒は ほかのの-オンソインに対しても独様能がある.―― ポ 化 一路域 ペチレン面合〉 [** chromium oxide-silica-alumina catalyst = Chromoxyd-Kieselerde-Alumina-Katalysator] アメリ 型1万∼14万程度のポリエチレンに国合する。 (記事 祖廷)

曲Siliciumoxyd] アイ紫の酸化物としては 最も普通には2個知られている。単に酸化ケイ 繋というときは二酸化ケイ紫をさず、そのほか 田酸化ケイ紫とよばれる Si-O。の存在も報告されている。 [1] 一酸化ケイ紫 [* silicon さんかけいそ 酸化珪素 [本silicon oxide

oxidase @Oxydase] [2] 二酸化ケイ紫* [#silicon dioxide 曲 (克廉一夫) monoxide #Siliciummonoxyd] Siliciumdioxyd] SiO₂.

ムとよぶこともあるが,このよび方は避けたほうがよい. [1] 酸化ケルマ=ウム(II) 酸化 第一ゲルマ=ウム - 酸化ゲルマ=ウム(X) 酸化ゲルマニウム(N)な、単に酸化ゲルマニウ manium(II) oxide, germanous oxide, germanium monoxide @Germanium(II)-oxyd, Germaniumonoxyd] 2 宿おれ び4値ゲルマニウムの酸化物が知られている. nium oxide @Germaniumoxyd] さんかゲルマニウム 酸化

やすい 固体(蒸気圧 28.5mm/7007)で、 以空中でよく昇華する、水に管けないが赤カッ色のコロイド溶液を与える、フッ化水茶酸を含む過塩素酸弱溶液で超元性を示し例を遊離する: GeO=88.60. 製法 酸化ゲルマニウム(N) とゲルマニケムな真空中で600で以上に加熱する と得られる設質色あるいは黒カッ色の無定形物 質、この GeO₂+Ge===2GeO の平衡は 980° 以上では左方にかたよる。性質 比較的解码し

GeO+2 AgC10,+6 HF

酸化スズ(Ⅱ)と異なり同性を示すことはない。 砂気中で加熱し、または酸化剤を作用させると 容易に4値のデルマニウム化合物を生ずる。 [2] 酸化デルマニウム(N)、酸化第二デル 2 Ag + 2 HC10, + H20 + H2GeF.

5N NaOH で徐々に優されるにすぎない、可称 (溶解度 水 20°, 4.3g/l) のものは酸,アル カリに容易に溶ける. 水路液中では Higeの の形で存在するが, pH5 以上では重合して Ge₆O₁₁2- のような形をとる。 用途 半導体用 マニウム, 二酸化ゲルマニウム [英germanium (N) oxide, germanic oxide, germanium dioxide #Germanium(N)-oxyd, Germaniumdioxyd] GeO₂=104.60. 製法 塩化ゲルマ ムを与える. 不容性のものは酸に侵されず,

[2] 酸化コパルト(田),酸化第二コパルト 高純度ゲルマニウム製造の中間体として重要で (米一種液)

slag moxidierende Schlacke] 一、机效效数 さんかこうそ 酸化酵素,オキシダーゼ [本 1 数化磁光群器

ンダム, セキテッ 紅など. AO, 到 ルチル, スズ石など. 2) U, Th および Zr を合む酸化 鉱物: センクラン缸. ホウトリウム鉱など. 3) 板塊な砂(塩物: ABO,図 スピネル, ジテッ 板なでは(塩物: ABO,図 スピネル, ジテッ 酸な砂塩(カト) Ta および Ti を含む複雑な 酸素酸塩塩物: フェルグソン石, コルンプ石など. 5) 水酸化鉱物,ヒドロキン砂化に物: ブ ral] 酸染と他の元素とが化合した組成なもつ鉱物の総称で次のように分類される。1) 面単な酸化鉱物:420 型 セキドウ鉱、A0 型 トーログルザボ たんかこうぶつ 酸化粧物 [*axide mine-ral] 夢歩ヶ年イボ・・・・ ペリクレース, セキエイなど. ArOs 型 コラ (# 久人) ルース石、ダイアスポアなど、

高温ではコジルトと酸素とド解離し、2860°で、酸素分圧1気圧化なる、水素、炭素され一酸化炭素と加熱すると過元されてコジルトになる、塩素とは約250°で反応が始まる、塩酸酸には冷晦徐々に、加熱すると容易に溶けて赤色溶 ばアンミン結塩を生成して移ける。希水酸化フルカリとはほとんど作用せず,酸水酸化アルカリを溶を加熱すると深青色となって溶ける。 ンチニア水には溶けないが,酸素が存在すれ [*cobalt oxide 仮となる(淺塩酸および淺硫酸では背色溶液). さんかコパルト 酸化・

[# oxidizing さんかこうさい 酸化鉛剤

サンセロこ

+(I)を塩茶酸カリウムで酸化する、製造の際 住意しないと、酸化コパルト(N)コパルト(I) と図出する、性質 カッ周色形末、吸湿性、バ 方品系、枯子定数 a4.64A、c.a=1:1.29.d 5.18 加熱すると酸素を放って分解して、酸化 oxyd, Kobaltioxyd, Kobaltsesquioxyd] Co101 cobalt sesquioxide # Kobalt(图)-=165.88 製法 1) 木酸化コパルト(田)を空気中で 250° で在意して脱水する。2 塩化コパル コパルト(N)コパルト(II)になる. 塩酸に溶か

状態では得られず、 亜コパルト酸塩(* cobalt-ite)として存在する。 木化物 CoO・zH₂O は木 位化コパルト(II)を次重塩労酸ナトリウム, 塩 系, 発病、過酸化水溶などで酸化するとき部分 的に生成する. (3] 二酸化コバルト [*cobalt dioxide the Kobaltdioxyd] CoO1=90.94. 無水的は遊路の ナと塩素を発生する.

[4] 四酸化三コパルト, 四三酸化コパルト [**tricobalt tetroxide 増Trikobalttetroxyd] → 数化コパルト(N)コパルト(II)

---(Ⅱ),四三酸化コパルト [*cobalt(Ⅱ) cobalt(N) oxide, tricobalt tetroxide #Ko-balt(II)-Kobalt(N)-oxyd, Trikobalttetroxyd] (近暦一天) さんかコパルト(V)コパルト(Ⅱ) 酸化・ o ပိ

ト(I)になる、水敷により高温であれて、 最初酸化コパルト(II)に、火ボコパルトな る、炭紫、ナトリカム、アルミコカム、一酸化 以繋などにより超元される、右離には酸雑を発 出して徐々に溶ける。 CosOt=240.82、観光 コバルト, コバルト 磁化物, あるいは水酸化コバルトを均気中ある いは酸粧中で強能する、依賀 頭色影光、等軸 には酸粧中で強能する、依賀 頭色影光、等軸 晶光、格子はスピネル関数値でコバルトは Co (エ)および Co(N)として存在し、超常のスピ ネル格子において Mg(エ)の占める位置に Co (N)が存在する、格子定数 a 8.07 Å、d 6.07. 生成熟 193.4 kcal/mol. 磁化率 x 34.4×10e.m.u. 資料すると酸素を発生して酸化コパル

- 1、一の数化による酸化密放の設備用に自金数線に近い性能を示す。 昭毅独立には楔数塩を使成してっくる。 水酸化カック 4を用いて沈毅はもた水酸化物の発成によりくくった酸化コンド・は さんかコバルトしょくばい 酸化 ―― 触媒 [本cobalt oxide catalyst 一部Kobaltoxydkata-lysator] 全種酸化反応に用いられる触媒で、iysator] 全種酸化反応に用いられる触媒で、部株あるいは酸化マンガン、酸化ピストスを促出剤をして加えたものが用いられる。アンモーが高級をして加えたものが用いられる。アンモー 聚化——智森 (三文章) に活性がすぐれている.

きんかざい 酸化剤 [本oxidizing agent 酸化*作用を有する物質をいう。 すなわちー Oxydationsmittel] Oxydierungsmittel,

化数を増大させるもの、すなわち属子を奪うものという意味から脱電子削ともよばれる。通常 使われている酸化剤には次のような関がある。 |二酸化コパルト [#cobalt(皿)oxide, cobalt- | 般に酸素を与えるもの, 水素を奪うもの, 正の酸

	0-1404	
ンガン数(塩)	HMnOt, M'MnOt	ye.
ラロム数および関連化合物	Cro, Micro, Micro., R,Cro, Micro,Cl, Cro,Cl,	8-03
新散および関連化 合物	HNO3, N3O4, N3O3, N3O, Cu(NO3)3, Pb(NO3)3, AgNO3, KNO3, NH4NO3	eren e un s
2 % 2	F2, Cl2, Br2, l2	कुलान्
边际化物	H,O, Na,O, BaO, (C,H,CO),O,	ರ್ಷ?ಸ್ಟ್ರ <u>ಿ</u>
ペルナケン袋(塩) (過数)	MJS,06, MJSO6, HCO,H, CH, CO,H, CeH, CO,H, CeH, (COOH) CO,H, CF, CO,H	ger yee
豆	色的戏略, 光燈或像+的游戲	क्रम
医素数(位)	MICIO, MIBro, MIO, MICIO, MIBro, MIO, MICIO, HIO, Na, H. 10, KIO,	्र रहर कृष्
五	FeCis. CuSO, Cu(CHsCOO)s, CuCis. Hg(CHsCOO)s, Bi(CHs COO)s, Pb(CHsCOO)s	ल् रण्यस्य
100	空気、母素、オゾン	aret (r
43年	CeO ₂ , Ag ₂ O, CuO, HgO, PbO ₂ , Bi ₂ O ₂ , OsO ₄ , RuO ₄ , SeO ₂ , MnO ₂ , As ₂ O ₆	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
も	カトロペンゼン、ロードン化合物	77

[* samarium (#I HE) さんかサマリウム 酸化-

整備などを強続すると得られる。 性質、質白色 粉末、結晶の状態に製造原料、加熱温度によっ が来、 は晶の状態に製造原料、加熱温度によっ て異なり、 三方晶系、 等軸晶系および缺三方曲 系の 3 體の変態が存在する、 等軸晶系のものの 結晶報道は酸化スカンジウム型構造、 格子配數 a 10.85Å、 d** 7.43、 常磁性体、 冷水に不溶: 酸に可溶、 水漿または酸浆によって熱時違元 oxide ta Samariumoxyd] Sm₂O₃=348.70. 製法 サマリウムの水酸化物, 硝酸塩, シュウ $Sm_2O_3 = 348.70.$ (禁田特治) たは酸化されない。

を除去後、残留分々分が領斗に与い、 カケンな分解、石油エーラルを加えて十分振り カケンな分解、石油エーラルを加えて十分振り 電せる、放復して水溶液が透明に分離すれば下 配の水を抜き去る、酸化酸は石油エータルに溶 解せずに分離するから、注意深く石油エーテル 溶液を除まし、現分は更に数回石油エーテル す。5.1mm り、不包布酸が酸化皿をしてできた構造不明の 数ではなるオキン酸とは異なる。その定量は次 のようにして行なう。 数料3~5gを水酸化カリ ひようにして行なう。 数料3~5gを水酸化カリ カム, コタノール溶液でケン化し、 4ター・ 不飽和酸の酸化により生 政士を石油エーテル不容性の贈 カッ色体をい さんかさん 酸化酸 [本oxidized acid oxidierte Säure] 不飽和酸の酸化によ

į 洗浄したのちょタノールに啓解し、 よタノー/ 不答部をロ去, ロ液よりょタノールを蒸留し, 残留を 100° で乾燥して定量とする. (阿郎5年)

リール館 ArsPb(NOs)s な水酸化ナトリウム溶液へ徐々に狂入する。性質 無色の粉末・造熱すれば酸解することなく分解する。一般本礎溶剤およびアルカリに不溶・酸と反応して塩やつ AraPbo 一般式で示される化台物(Arity) 一ル茜を示す)、製法 二硝酸シア (馬崎午代和) さんかジアリールなまり 酸化---鉛 diaryllead oxide @Diarylbleioxyd]

る、粒質、無色の惣末、加数によって分解。この値の反驳化合物酸化シメテルスズは同性化合物でアンテルスズは同性化合物でアンシンに部けるが、酸にも反応して斑を物でアンシンに部けるが、酸にも反応して斑を [#dial-人 光彩 (梶崎午代和) さんかジアルキルスズ 酸化——kyltin oxide 軸Dialkylzinnoxyd]

チャジハロゲンゲルセンな [(CsHs)sGeO]n アルシリ溶液で加水分解す Adiethylgermanium oxide BDiathylger-C4H10GeO=147. 製涂 ジェ 聚化一 さんかジエチルゲルマニウム maniumoxyd]

5. 性質 2 題の国合体がある。1) 保超で安 1 紀たものは無色無定形の固体で 175° で酸解する。 有機溶剤、水、液体アンキュアドボ路、2) 面質的類面で得られるものは酸点 18° を示す。 はなである。これは角線溶剤に移けるが、水 1 1び液体アンキェアに不溶。 強・ロデン化水株 1 酸で処理するとジャロデン化物になる。 (馬崎千代和)

さんかジエチレン 酸化--- [**diethylene 1 ツギサキン oxide # Diathylenoxyd]

prosium oxide 単Dysprosiumoxyd』 Dv・ハーニ373.02. 製体 :----=373.02 製法 ジスプロンウルの脳酸塩性に はシェウ酸塩を強熱するとゆられる. 性質 白 色. 結晶型は酸 化スカンジウム型構造。 祐子 定数 a 10.63Å. d 7.81. 酸に可容. 酸菜中で 強熱しても高級酸化物を生じない。(塩四村市)

さんかジナフチル 酸化--- [**dinaphthy] oxide mDinaphthyloxyd] - ジナフチル さんかジフェニルゲルマニウム よしかた

製法 ジャロゲンジフェー [(C,H,1)GeO] ルチルマンの加木分解によって得られる、柱質 無色の粉末、一定の酸点を示されて、 鶴々の題合体が認合しており構造は明らかでない、 有機密剤に不溶、 適くロゲン | the bis (diphenylgermanium) oxide the Bis (di-C12H10GeO=243. phenylgermanium)oxyd]

化水茶酸によってハロゲン化物を生成する. (889年代41)

キンセッユ

[] ; 数化—— [*diphe-さんかジフェニルスズ 酸化—— [³ nyltin oxide 曲Diphenylzinnoxyd] フェールスズオキシド

12 さんかジフェニレン 酸化—— nylene oxide 歯Diphenylenoxyd] Hコレンオキシド

[(CH₈)JIn]zO リメチルインジウムを観燈な (CH₈)JIn]zO 条件(-78°, 250 時間)の下で C4H13In10=306. 既得 ト Bis (dimethyl-さんかジメチルインジウム 酸化・ bis(dimethylindium) oxide indium)oxyd]

乾燥酸素で酸化する。

puy mentanum 画場合か含む以化水素現地やもつ化合物が 職場に無いて衝突回中する過程ないう、 扱も 1 い例は油脂の位換である、 存住当ま15年存住 当は空気中の酸素によって酸化され、 格限を地 し、 ついに固たして結婚性を失うに至る。 この 過程は、一個指令に酸素分子が付加して過酸化 物を生成する過程と、そのネルキやド路の到 製たよる温程と、 そのネルキやド路の 製による二個結合の国合過程とを含むものと考 よられている。 酸化国合は的、 オンボン、 コン、 よっれている。 酸化国合は的、 オンボン、 コン、 ルトなどの酸化物、 水酸化物の溶却によって促 polymerization @Oxydationspolymerisation] (EB) (B) 酸化蛋合 さんかじゅうごう 猫される.

さんかしゅうそ 酸化臭素 (英bromine oxide mBromoxyd) 臭索の酸化物には一酸化臭素,二酸化臭素、ご酸化臭素はび存在の明らかでない七二酸化臭素がある。三酸化臭素 は以前, 八三酸化臭紫と考えられていたものである. [1] 一酸化臭紫、亜酸化臭紫 (英bromine monoxide, bromine suboxide BBrom-83. M 1) 四塩化炭素中で酸 化水銀(Ⅱ)に臭索: Br₂0=175. monoxyd, Bromsuboxyd]

2HgOBrs - Hg (OBr)2+HgBrs HgO+Brs → HgOBrs 用させる:

2) -40°以上で真空中で二酸化臭架を分解する、同時に生成する臭器は分別丹華により除く、性質、暗かッ色の固体、融点 -17.5±0.5、暗中で -40°以下でのみ安定、四塩化炭器に移けて緑色を呈するが、光をあてるとすみやかに Hg(OBr)s+Brs - Brs0+HgOBrs 分解する

と反応させると次回臭素酸ナトリウムのみを生するが、一般化臭染を直接水酸化ナトリウム管液 液と反応させると臭素酸ナトリウムも生ずる水に溶けてまず水面具素酸となり、次に分解す 四塩化炭素溶液をぴ で水酸化ナトリウム溶液 Br₂O+CCl₄ -- COCl₃+Br₃+Cl₃ 2 Brs0 -- 2 Brs+0s

サンガスひ

2NO₉を生ずる. [3] 八三酸化臭素 [本tribromine octoxide en Tribromoctoxyd] Br₃O₆. これまで八三酸 en Tribromoctoxyd] Br₃O₆. これまで八三酸 化臭素と考したていた酸化物は A. Pflugmacher (1985年)によると三酸化臭菜であること が明らかとなった.

オンはなく、また紹子も実ものおりない。 [5] 上版化二規第・七二酸化規則、 mine heptoxide mDibromheptoxyd] Br.On= 271.83。 低圧で二酸化異深を分解させるとき、 一酸化異なとともに生成十る自位配格がこのも のと考えられている。 一70°では安定である。 (近800年)

1) GT セチリドの数化部台: 2 RC=CCu OL RC=CCE-CR+2 CuO まずてキケンと合物を研Tセチリドとし、水 に分散させて空気、フェリシアン化カリウム、 塩化網(1)などで酸化する、収率は一般に弱く

最近はおまり用いられない。2) アセチレン列 グリニャール化合物の酸化縮合:

2RC∈CMgX ---

 $RC=CC=CR+MgX_3+MgI_3$ 一配換アセチレンのグリニャール酵薬体をつくり、これをヨウ茶(塩化剤(I) / 放媒 成加)、 結本型化剤(I) / 放送で酸化酸合立 位代網(I) / 放送でで酸化酸合き でき、この方法はアセチレンの以化水菜豚等 の場合に適している、3) ニューランド酸鞣による方法:

2RC=CH CuCI-NH,CI(pH 2~3)

RC=CC=CR+H₃O 過剰の塩化銀(1)、塩化アンキュウム塩合溶液 (ニューランド無燥)にフェチァン化合物を加 え、酸素、安気、過酸化水素などで酸化する。 複雑的で、かつ温酸的に反応が行なよる利点が ある。合成的:プロバルギケアルコート キャジインジォール (%6次型)

さんかジューテリウム 酸化—— [** deuterium oxide 歯Deuteriumoxyd] D_iO == 低水

さんかじょうたい 酸化状態 [**oxidation state] - 酸化散*, またはその酸化散を有する状態.

さんかシリル 酸化—— [#silyl oxide] = ジシロキサン

である。 パッデリ石型とジャコニア部の2値がある。 耐寒は特徴白色ないしカッ色の単純晶形 4 (数 展 が) 2.13 ないし 2.20, d 48品, n (数 展 が) 2.13 ないし 2.20, d 5.49, 融点 2700°, 端点的 4300°, 冷, 温水に不 が: 値数・フッ化水発盤に可溶 接近は 1000° 以下では中荷品系、それ以上では等軸晶系の無色結晶、 格子定数 a 5.07 Å、45.6、 勘点 2715° A、 温水、硫酸、フッ化水栄酸に可溶・用油、 囲ん 温水、破酸、フッ化水栄酸に可溶・用油、 囲ん 指来大で融点菌く、即食性の大きいために蒸業 ラスに加え, またジルコニアのみで成型し(枯合剤として Zr(OH),, H_PDO, グリセリンない ルコニウム酸としぶことがある。 製油 大酸化ツケコニウムの面熱により得られる。 柱翼 画作のジルコニウムはインニウムを少し(2%ない 反なとして臼圧される。 ただし出数色を値らもり、少鼠の下落物によっても難しく 在語の数名 をきたす離点がある。 耐水炉材としては 1800~まで使用可能で、ことに温度の急変に耐える点 が特徴とされる(熱膨吸降 8.10×10-7deg-1, セ キェイのそれは 7.0×10-ideg-1). 酸化物焼桔 しそれ以下)含むから、比阻その他の物理量は イの句が ハフニウム共存の状態に対する値と考えるべき ジルコニイ | 東zirconium oxide, zirconia 晦Zirkonium-ZrO3=123.22. 無水ジ 体は特殊母器として質用されている. さんかジルコニウム 酸化一一・ oxyd, Zirkonerde]

が細かく化学的により活発であり, 存住も強く 木への溶解度もやや大きい。塩化ナ・リウムの ことを塩質商後ともに長時間気部ナルに赤色 砂化木類な、変わる、用熱 医琥珀(転 コウラ 砂化水割(を で か 2) 赤色酸化水類(本 red で皮膚(で が 2) 赤色酸化水類(本 red mercuric oxide, red precipitate 中 ottes Quecksilberoxyd, roter Präzipitat) 薬学時門 では 赤 ゴ ク コ ク 「本 red precipitate 中 ottes Quecksilberoxyd, roter Präzipitat) 薬学時門 では 赤 ゴ ク コ ク 「本 red precipitate と 上がわる。 製法 水板を空気中で 350° に加熱してう。 る。 並たは硝酸水板(I) の加熱分解に 1.5。 本質 解析のないし下が売の。 体制性粉末、膚 力晶系、更に細かく研磨すれば質色となる。 生 成数 21.6 kcal/moi, 400° に加熱すれば温色と なり、500° 以上で水板と酸素とに分解する。 溶解度 水 25°, 4.87mg/100 mi, その他の性 超に質色酸化水板と同じ、用始 酸料, 分析域 製、数菌剤、注意 シャ光して停載、移動、分析域 環、数菌剤、注意 シャ光して停載、移動、分析域

さんかすいぎんでんち 酸化水銀電池 [#mercury oxide cell 皓Quecksilberoxydzelle] 水銀電池*のことで,酸化水筬(I)を正確の活物質に用いているのでこの名がある.

さんかすいそ 酸化水素 [**hydrogen ox:ide **etwasserstoffoxyd] H2O == ホ

さんかすう 酸化数 [Mostidation number mbOrydationszahl] 化台物中の電子をある一記の方法でも原子に関り当てたとき。その原子の第一がもつの電子の野女教化数という。この電子の部当方にはある程度の任義という。この電子の部当方にはある程度の任義性があるが、化台物中の電子構造を詳しく考えずに完装の原子面をかったができ、酸化強元反応の反応式を加ったいている。電子の割当方は完全に一級的はいて、電子の割当方は完全に一級的にいての知識を必要とする場合もあるが、大体は大のような規則に従っている。1) イオン結合

生成される、奴奴で酸化タンタル(V)を超元しても得ることができる。 性質 暗灰色の粉末で軽化されやすい、木、酸に不容・ 四酸化ニタンタル,四二酸化タンタル [*tan-製法 タンタル塩溶液の電解で陰極で皮膜状に talum(N) oxide, tantalum dioxide, ditantalum tetroxide @Tantal(IV)-oxyd, Tantaldioxyd, Ditantaltetroxyd] TaO2=212.88.

Z.182 8.735. 1470° 七分暦して政教を放う、冷、固永、フッ化水契製以外の酸不不管、磁酸水装かりかよ脳解により可答となる、過程のアルカリはとこもに共踊すればタンタル製塩となる。 タンタル酸を強熱するか、タンタルを空気中で 五酸化ニタンタル, 五二酸化タンタル [共tantalum(V) oxide, tantalum pentoxide. ditantalum pentoxide @Tantal(V)-oxyd, Tan-441.76. 自然にタンタル石として笛する. 製法 Ta206= [3] 酸化タンタル(V), 五酸化タンタル, ぬして仰られる. 位置 好方晶系結晶. talpentoxyd, Ditantalpentoxyd]

(国政政犯)

子定数 a 4.235 A K属する・馬色柱状・製法 によりカッ色、背色などを示す・d 4.93、 独点 1750・磁数に溶け、硝酸に不溶・ [2] 酸化チョン(皿)、三酸化ニチョン、三 優化物は1び過酸化物が自られている。 4面のものが表も中間であってチェーイ ** titania, チョン酸化物の第)というときはこれをは、 1] 像化チョン(II), 一般化チェン [#tita nium(II) oxide, titanium monoxide BTitan 製法 酸化チタン(N)を, 炭菜さたは金属(たとえば亜鉛)で選元する. 性質 尊軸晶系, 格 さんかチタン 酸化—— 【# titanium oxide 由Titaniumoxyd】 2, 3, 4 値チタンの II)-oxyd, Titanmonoxyd} TiO=63.90.

Titensesquioxyd] TisOp=143.80. 製法 酸化チェン(N)を水袋と塩化チェン(N)の配合窓で超元する. 性質 六方晶系. 格子記数 a 537Å, α 56748′, 原衆色. d 4.6. 2130° で 製師せずに分解、杏木、 超水に不裕、 通信数に 恐げて禁色になる、 塩酸、 磁酸に不溶。 リョム 酸、 過まンガン酸などにより酸化される。 nium trioxide, titanium sesquioxide, titanium *titanium(III) oxide, dititatrioxide @Titan(II)-oxyd, Dititantrioxyd, [3] 酸化チタン(N), 二酸化チタン 二数化チョン

というイナンは存在しない、したがってメガチョンが酸後(I)という名まえは関りであるが、習慣的に用いられている、性質・粉末は無または、カッ赤色・不透明、 4.5~5、カタサ 5~6、熱液塩酸に徐々に溶け、フッ化水素酸には数十年間で完全に溶解しフッ化核の対脳を生する。 国籍酸水果カリウム酸解に1)酸に可溶となる。 もとして産しチタンチッ型*とよばれる。 人工 のにもつくられる。個々の函数成分をも安値 が多い。Fe(エ)の代わりにしばしば Mg を含 む、六方晶系。チタンチッ製型構造*・チタン 原子は6個の酸素原子に開まれていて、TiO。 [2] オルトチタン酸核(II), オルトチタン 陸第一族[miron(II) titanate, ferric titanate 歯Eisen(II)-titanat] Fe₂TiO₁=207.60. 製法 酸化チタン、鉄(II)塩および塩化ナトリウムの間合物を酸解して得る、構造・性質 解方晶系、解抗・性質 の方晶系、臨発色性にある、素金・性質 の方晶系、暗染色結晶、スピネル型構造。[LiO]を titanium oxide BEisentitanoxyd] さんかチタンてつ (本tantalum ox- titanium (N) oxide, titanium dioxide 母Titan (ロメンタルの酸化物 水チタン酸とよぶこともある。構造を興にするいタル(I), 一酸化 スサン酸とよぶこともある。構造を興にするいタル(I), 一酸化 スサン酸 とよっても スカイボ ルチリ oxide, tantalum にも確する。イタチタンの エイスイボ ルチーの水が、Tantalumono・ルにれてある。このもルチルは自然が代記が、存在は疑かした。 はをインテンをはまれて、 株に若干の酸化酸は、作用を助め製造された。 はをチタンテン。 はをチタンテン質*とよ。 製造 現場室で製作がメタル (料) 塩水溶液のら水酸化物とは、 はをチタンテン質*とよ。 製造 現場室で製作がメタル (料) 塩水溶液のら水酸化物とは、 の分離し、始密する、近部で終けばルチル型の なられ、エイメイ治型は、直線水ボカリウム型 存出中に酸化チタン(N)形米や少部ナン部のしておられる、有面のチメンのシェナン代数を水 反映れる、有面のチメンのシェナン代数を水 反成し、一酸化炭素とも、水が部中に超しると イタチダン右型が移られる。 柱質 イタチタン 右型はカッ無色の 呑力 晶 糸 枯扁 、 右子 放数 5.436, 9.166, 6.135.A. n (三輪柱), 2.583, 2.586, 2.741. d 4.17, 816 と 1040 の間でのみ存在し、それ以上の高温ではより安定なルチル型に変わり、低温ではエイスイ石型に変わる。エイスイ石型は黒カッ色、正方晶系。3.73, c.9.37. n (複画坊) 2.554, 2.493, d 3.84, ルチル型は無色から無色生で値々の

[*iron(田) titanium oxide, ferric titanium 知られている. (1) FeaTiOs=239.60. 敷治 oxide 睡Eisen(田)-titanoxyd] 4.55。 2.98. 4 4.25. 3型とも、日本で、 1.45. 2.98. 4 4.25. 3型とも、1640° C 監解し、3000° 以上で分解する。 4.60° C 監解し、3000° 以上で分解する。 4.60° C 監解し、3000° 以上で分解する。 4.60° C 監解に、 4.80° C に で 4.80° C に を

[4] 過酸化チタン* [株titanium peroxide 曲Titanperoxyd] TiOs nH2O (豚灰・カ刀・滑木)

cobaltous titanium oxide, cobaltous titanate en Kobalt (II)-titanoxyd) CoTiOs=154.84. [★ cobalt コパルトの化合物が知られている.酸化チタン コパルト(口),酸化チタン第一コパガト,チタン 塩化コパルト(Ⅱ)と酸化チタン(N)とな髄解し 数第一コパルト(*cobalt(II) titanium oxide, (藤原紋男) titanium oxide @Kobalttitanoxyd] さんかチタンコパルト 酸化---て製する.

さんかチタンだいいちコバルト 敬化---無 ____ [*cobaltous titanium oxide]

数数(日)(本iron(日) metatitanate)に相当し,

自然界にはブリゾナ石として産する, 単斜晶系. 無 1 チタンコパルト(II)に同じ. CoTiOs

聚化——铁

化チタンコパルト

ide mStickstoffoxyd) 監禁には普通5個の 動化物が知られているが、更に酸化状態の高い 化合物も存在する。酸化二酸珠、三酸化二酸鞣、 工酸化二酸珠 12 木 北 ぞ 北 次 銀 磁酸、 超 破験、 超 酸に 対応し、 それらの親 水 に り ゆられるが 関係に 対応し、 それらの親 水 に り ゆられるが 酸化二酸珠は、 これを水 と 反応されても 水 照 数を生 じたい、 単に酸化酸素といえば一酸化 素をさま場合が多い。 [1] 酸化二酸菜。 [2] 前はfrogen oxide mDistickstoffoxyd] No. さんかちっそ 酸化窒素 [# nitrogen ox-ので、奴殺化物と考えるほうがよい、2 館の依(I) 超と3 題の依(II) 超か的のれている、[1] メタチタン酸條(II)、メタチタン酸解一族 [** ン数鉄(英iron titanate)ともよばれるが、結晶 中にチタン酸イオンを認められないものが多い iron(II) titanate, ferrous titanate BEisen (II)-titanat] FeTiOs=151.75. 自然界に鉱 [¥ iro

[3] 三酸化二度素*[#dinitrogen trioxide BDistickstofftrioxyd] NaO3. [2] 一酸化窒果* [*nitrogen monoxide # Stickstoffmonoxyd]

[4] 二级化放跃* [*nitrogen dioxide = Stickstoffdioxyd] NO3. [5] 五酸化二窒聚* [*dinitrogen pentox-

産業の酸化物とオゾンまたは酸素との反応によって生する気体、668~665 m4, 628~625 m に吸収がある。水に溶けても過酸化水薬を生じないので, -0-0- 結合はないと考えられる。 [6] 三酸化窒素 [**nitrogen trioxide 歯 Slickstofftrioxyd] NOs=62.01, 窒発または ide im Distickstoffpentoxyd] Noos.

[7] 六酸化二窒素 [*nitrogen hexaoxide 酸化窒素と液体空気または液体酸素との反応に よって生ずるきわめて不安定な緑色固体。 (太町和田) th Distickstoff hexaoxyd] No0=124.02.

さんかちっその ぶんせきほう 酸化酸 分析法 [**analysis of nitrogen oxide Analyse von Stickstoffoxyd] (II) orthotitanate)に相当し、ギイタチタン石として自然にも座する。暗カッ色で顕微的下でみると透明な質色を帯びた斜方晶系の柱状晶。 に酸化鉄(田)と酸化チタン(N)を溶かし, アンキニアホで沈殿させて得る. 性質 メタチタン 大の3種が [3] 酸化チタン鉄(田), 酸化チタン第二鉄

*ネシウムに塩化 | **頂ρгム酸付加物 2C₈H₅OP·H₂Cr₂O₇: 融点** (CHs),PO YYRXFNY

トリクセル酢酸付加物 CaH,OP·CI,CCOOH: (馬崎千代和) 医点 67°

i II I さんかトリメチレン 酸化—— [# methylene oxide 晦Trimethylenoxyd] トリメチレンオキシド

ウェ*とよばれる. 製涂 1) ナトリウムを180° 以下で適宜の酸素 と 反応させる.2) ナトリケ 3) + 1 1 r¥ sodium oxide BNatriumoxyd] Na₂O=61.98. Na₂O₃ で扱わされる化合物は普通過酸化ナトリ $Na_2O = 61.98$ ムと過酸化ナトリウムを加熱する。3)ウムを水酸化ナトリウム中に随解する 観代一 さんかナトリウム

4) アジ化ナトリウムと硝酸ナトリウムの反 2NaOH+2Na -- 2Na₂O+H₂ 応によりつくる:

5) 工数的にはナトリウムと 亜硝酸ナトリウ 5NaN3+NaNO3 -- 3Na20+8N2 ムを加熱して製造する:

2NaNO+6Na -- 4Na₂0+N₃

位置 白色のの末、ホタル石型は強*、格子記数 a 5.55Å、400°以上に加熱すると過酸化ナーリウムとナ・リウムに分解する。4 2.27、吸 当 3.42、米と強しく反応した解化ナ・リウムを生 号 4.8、一酸化炭素を吸収して炭酸ナ・リウムを 4.5、・ 用金 股水剤として材酸の高における国 4. 総合反応に用いられる・注象 皮膚に直接 6. 結合反応に用いられる・注象 皮膚に直接 6. 結れないように扱う・ 四部してたくかが。 (名川城之母)

en Bleisuboxyd)シュウ酸低に二酸化ケイ紫が臨また二酸化炭素致液中心加熱分解されるとできる風色を短形物質、PpO・して整合されてきる風色を延移物質、PpO・して整合されて 中間の留台の観察と台に化台があり、それらば設化面(V)的(II)*と総称され、その中でPbO, と PbO, が簡単に単純されてよく知ら いるが、実は金属船と酸化船(Ⅱ)との躍合物で れている. [1] 面数化路 [*lead suboxide 二酸化铂 PbO, そのほかに PbO と PbO, との [* lead oxide # 一酸化酶 PbO. 莊敬化館 PbrO. さんかなまり 酸化鉛 Bleioxyd] 亜酸化鉛 I

ば(英massicot)ともよばれ,単に酸化鉛といえば多くの場合この物質をさす. 1 世紀に既に知 [2] 敬化铅(I), 一酸化铅, 酸化第一铅 [#lead(II) oxide, lead monoxide Blei(II)-Pb0=223.21. 4 7 ージ(英litharge)または金ミグ Bleimonoxyd] #>+, 14 oxyd,

これていた。存在・製法 各所で天然に見いたされている。金国船の粉末を空気中で加熱すると、無定形の酸化鉛(II)がでする。この音流形物質を配解して冷却すると、質色の結晶が得られる。 強の対象が加熱の解析、酸化したり、炭酸、 強酸をか加熱の解析、酸化したり、炭酸、 発展を加熱の無してもおり、水質を下より、関色・コ水晶、質色ないし赤色粉末状のものが得られる。 性質 質色から赤色粉末状のものが得られる。 性質 質色から赤色 またの間の値へのものがあり。 其色酸化的(甲 gelbes Bleioxyd)および赤色酸化鉛(铀rotes Bleioxyd)とよばれる、赤色のものを 720° 以 多少色が異なるものになるが、黄色のものは赤色のものには変わりにくい。黄色結晶は斜方晶 系, n 2.61, d 8.0, 毎定形のもの d 9.2~9.5, 融点約 900°、出抵抗 7×10⁶f)・応用(384⁹);2870f)・cm(700°);330f)・cm(900°)・水に不裕 上に加熱する1.質色となり、冷却速度によって

5. 用途 1)他の鉛化合物特に四酸化三鉛(铅 升)の原料 2)鉛ガラス*, 鉛ュウ*の原料 3) 額料 4)ゴムの加硫促進剤*および促進助剤。 ネオブレン,ハイパロンなどの合成ゴムの加磁 脂肪酸エステルをケン化して餡セッケンを生ず

supertoxyu」invx-con-st. 対域に関いてなった。 対象化的というよび名は正しくないから、道像化的というよび名は正しくない。 サーイトとよれる解放として存在する。 的・ナーイトとよれる解放として存在する。 的などで酸化したり、回酸化同解的化物化、水水上の上級の水溶液をでは、まる条件では定量的に酸化を可解酸化すると、まる条件では定量的に酸化物(N)となり、これは的の重量分析に用いられることもある。 対数 法としては 10%の水酸化ることもある。 対数 法としては 10%の水酸化 性質 一般には茶カッ色の毎組品系の粉末, n 2,229, d 9,375,金銭なみの導電率をもつ, 結晶の 20°での 以薄電率 10180mho/cm. 温度の上昇とともに 1°につき 0,06% 程度拡抗が下がる, 水, アルコールに不符, 光分解を受け下がる, 水, アルコールに不符, 光分解を受け ナトリウム中で煮沸し次に希硝酸と煮沸する.

酸化水素によって超元されて酸化的(II) なる。 塩化水素とよって超元されて酸化的(II) 水。 な 塩化水素を作用させると塩化的(II) 水。 塩素を生するが、濃塩酸の場合には塩化的(N) えもも生する。 ヨウ化カリウムと作用するとヨウ 素を遊離する。 イオウやリンとは烈に反応して (N) と敬化的(I) とを生ずる、用金 1) 部帯 に対してを発力を 11 とを生ずる、用金 1) 部帯 にとがさる。2) 元宏分がつを祭祀による改水まとがさる。2) 元宏分がつを祭祀による改水安分がのとき。 熱発管につめて使用(対状にして登集の酸化物除失用。通称 180° に自然。 メと硫酸鉛とを生ずる。過マンガン酸の硝酸溶液と加熱すると 酸 素を 発生 して難化マンガン で四酸化三館と酸 祭になる。加熱するとまず、200°で三酸化二鉛と酸 祭とになり、叉に荷鉛では四酸化三鉛と酸素で分解する。オゾンや過では四酸化三鉛と酸素で分解する。オゾンや過 これらを酸化する。濃硫酸と加熱すると酸素ガ ガく*) する. (新暦·幼刀·小沢·阪本·清水) 粒化炭素、木の吸着を防

に溶解させ、臭菜を加えて酸化し、生じた沈野や洗って溶燥させる、粒質、黄赤色の糖定形物質、水洗った溶燥さる、粒質、黄赤色の糖定形物質、水布水を失いにくい、加敷すると 360° で分解しはじめて四酸化三鉛を生ずる、冷水に不溶、熱水中では徐々に分解する。多くの酸やア格、熱水中では徐々に分解する。多くの酸やア と PbO,の中間のもの)の銘称であり、「取れ二盤、四酸化三鉛とがよく知られていたが、前一盤、四酸化三鉛とがよくかられていたが、酸ケ酸(肛)と酸 歯の存在は確節されていない。 東北 (東西) 製法 酸化鉛(五)を水酸化ナトリウムの水溶液 さんかなまり(N)なまり(I) 酸化鉛(N)鉛 船の酸化物で鉛と酸 PbO2の中間のもの)の総称であり, 三酸化 sesquioxide ta Dibleitrioxyd] Pb208=462.42. # Blei [# lead(II)lead(N) oxide (II)-blei(IV)-oxyd] ルカリに可쭴.

約500°に加熱すると生ずる。工業的には反射 炉を利用する。性質 一般には鮮赤色の糖定形 (I)と酸素とを生ずる.水に不裕.少量の塩酸 を作用させると塩化餡(I)と酸化餡(N)と水と 塩扱と大とを生ずる、硫酸の場合も類似で、希酸では硫酸的(II)と酸化的(IV)を生ずるが、碳硫酸を作用させると酸聚を発生して硫酸的(II) 粉末、高温では可逆的に黒色となる。49.1. 加熱すると 500° 付近から分解が始まり酸化鉛 を生ずるが,塩酸が多鼠にあると塩化鉛(II)と [2] 四段化三鉛, 四三酸化铅 [*trilead tetroxide 由Tribleitetroxyd] Pb30,=685.63. られたこともあるが, 正しくは復酸化物, すなわち酸化的(N)鉛(II)と考えるべきである. B. たは粉状の酸化鉛(Ⅱ)を適当な条件で空気中で 鉛酸鉛(英 lead plumbate) Pbin(PbO4)と考え C. 4世紀に絵の具材料として使用さればじめ、 紹介 (* red lead) あるいは光明丹(* minium) とよばれ古くから知られていた。 製法 鉛粉ま

用させるとまず酸化的(エ)の政分が部けて酸化配(N)に富んだものが致り、次に後去が徐々に密解する。水酸話をもつ多くの有機的によって高温で超元される。用途 1) 顔料:結の具、ペイント(ことにサビ止メベイント)の岩色 2) 鉛ガラ/スの成分 3) 若電池の極板用. (荼蘼--夫) 前酸でも条件によって硝酸鉛のほかに 酸化鉛(N)を生ずることがある. 酢酸に徐々に 答けて酢酸鉛(II)となる. 水酸化アルカリを作

a Nioboxyd] 5 個コキブ化合物が交換であるが、2、3、4 個の化合物も むられている. [1] 数化コキブ(II) 一級化コナブ (# niobium (II) oxide, niobium monoxide a Niob 製法 オキン塩化ニオブを金属マグネンウムで **遠元して契する. 性質 ・幹軸品系の風色結晶.** 46.27. 冷, 遠水に不容. 酸, フルカリに 可 [★niobium oxide (II) oxyd, Niobmonoxyd] NbO=108.91. 製作ー さんかニオブ ta Nioboxyd]

oxyd, Diniobtrioxyd] Nb₁O₈=233.82. 製法 酸化ニオブ(V)を金属マグネシケムなどの超元 剤で選元すると得られる. 性質 **ウ**鼠色粉末. 帝、ただし瑜峻に不裕。エタノールに不裕。 [2] 酸化ニオブ(田), 三酸化ニーオブ, 三二酸化ニオブ(本niobium(田) oxide, diniobium trioxide, niobium sesquioxide mNiob(田)-

熱した酸化ニオブ(V)を水茶で塩元して製する。 性質 専用色粉末、冷、温水、塩酸、硫酸、硫酸、 王水、フッ化水素酸に不溶、熱フルカリにもほとんど侵されない。 五酸化ニオブ、五酸[4] 酸化ニナブ(V), 五酸化ニオブ、五酸 ₽Niob (N)-oxyd, Niobdioxyd] NbOs=124.91. 製料 [3] 酸化ニオブ(N), 二酸化ニオブ niobium(N) oxide, niobium dioxide 磁点 1780

 $(k = - + \pi)$, $E = B(k = + \pi)$ [# niobium (V) oxide. niobium pentoxide, diniobium pentoxide B Niob (V) - oxyd, Niobpentoxyd,

44.02. 窒素の最低級酸化物. 1776年 J. Priest・ ley が怒見. 繋状 1) 強敗協立たは里硝酸塩 を塩化スズ(II), ナトリウムアマルガムなどで カムの飽和溶液に一酸化窒素の濃水酸化カリウ ム溶液を加え硫酸カリウム・酸化二酸素 K₅SO₆ 還元する. 2) アンモニアを酸 森で酸化する. 3) 硝酸アンモニウムの熱分解. 4) 亜硝酸カリ 突気 [#dinitrogen oxide, nitrous oxide, laughing gas 铀Distickstoffoxyd, Stickstoff さんかにちっそ 酸化二酸鞣、亜酸化酸素 Lachgas, Stickoxydul] suboxyd,

platinum hemitrioxide 曲Diplatintrioxyde, Platinsesquioxyd] Pt₁O₃=438.18. 無木物は 過剰の酸化白金(N)との固符体としてのみ存在 し、遊離の状態ではねられない。 水化物については水酸化白金の項を都開

(3) 四般化三白金, 四三酸化白金 (**tri-platinum tetroxide, platinum tritetroxide, platinum tritetroxide, platinum tritetroxide, platinum tritetroxide, platinusic oxide 他Triplatintetroxyd, Platinoxyduboxyd pt.0. = 649.27. 製法 1) 白金 必文母時間加熱する。2) テトラクロロ合金(I) 酸子 1, び希南酸で処理する。性質 風色結晶・等離 1, び希南酸で処理する。性質 風色結晶・等離 1, 4 1/4 1/4 1/4 かまびその同価点にある。この白金は結晶等の上ではすべて同価。すなわち酸代酸に区別がない。風色の物質であることからも、白金の2種の原子は一つの面。すなわち酸化酸に区別がない。 無色の物質であることからも、白金の2種の原子に同う共成であることから、自動に超形される。 無機配定はある。 自動に超元される。 素機酸には薄膜する王木にすら暖きれないが、ギ酸と反応して自金原となったを

[4] 酸化白金(N),二酸化白金、酸化第二白金 [*platinum(N) oxide、platinum dioxide、platinic oxide mplatin(N)-oxyd, oxide、platinic oxide mplatin(N)-oxyd, 独然 水化物を加酸的水力を P40-227.09. 製造 水化物を加酸的水力を 40 50.57. 完全 に無本 5. 500°以上で白金と酸素とボ分解する・ 20 20 以上で白金と酸素とボ分解する・ 20 20 以上で白金と酸素とボ分解する・ 20 20 以上で白金と酸素とボ分解する・ 20 20 以上で白金と酸素とボ分解する・ 20 20 以上で白金と酸素とボカボ、光解、直接、可能を対して、一般に放射によって組みである。 40 20 20 12 を移場。

たり酢酸には於ってい、一つのであった。 ないので過酸化白金ではなく、酸化酸 6 の白金 の酸化物と考えられる。 [6] 四酸化白金 [**platinum tetroxide applaintetroxyd] PtO.=259 09. 白金酸化物

の電極電位および酸紫の解離圧の研究から, 四 酸化白金の存在が推定されている. (近暦巻夫)

さんかはっきんしょくばい 酸化白金粉媒, アメムス粉媒 [** platinum oxide catalyst. Adams catalyst mPlatinoxydkatalysator. Adamsscher Katalysator] 一 白金粉媒

ム、フェリンブンにカリント、の出海が成 りのよ、ベルナタン強酸粒にを無いたたちで も可むかっていないが、この場合発光物質が、 っきりむかっていなが、この場合発光物質が、 っきりもなっていなが、この場合発光物質が、 を質にもどることが最大ののちにはまたもとの も質にもどることが最大ののちにはまたもとの も質にもどることが最大のなった。、 ・ルのこのような場では、、メータン・ル。、 カローのような光のになった。、メール、 ったのこのような光がである。 ル。、 に、 窓光酸粧が初めにも行わている。 にの1 はたく、一ルを液のになったがである。 アムリー たよっても回答するのである。 アムリー たよっても回答されるのである。 アムリリー たかか、中の音楽になっている。 にの1 にかまいても回接の現をが認めた。 その信頼にも にもどう、との4により、なか にもどう。 との の名光はた。 とのもなりで な値が収しいること よりに体に関係の深い も同であることなどから関係の と、これらの母漢は、 にのより。 たか もの質であることなどから関係の は、 これらの母漢は、 にのより、たか が、これらの母漢は、 にのより、たか が、これらの母漢は、 にのより、たか が、これらの母漢は、 にのよりを をしてもなっとなどから関係が出来を をしてかるものと関われ、今後にれらのものを 可究する上に関東な手がもしてためにある。

おける魔祭によるない。 MALACAであるものと思われ、今後これらのものを 研究する上に重要な手がかりとなる現象である 研究する上に重要な手がかりとなる現象である と考えられている。 (田中都三) さんかはっこう 酸化発酵 [*xoxidative fermentation etoxydative Gärung] 酸生 がにより有機化合物が不完全酸化を受け中間代 関物が多量に蓄積される発酵現象。広い意味の 酸化器群ではカビによるアニン酸発酵, アロイ

時、シェン酸発酵、イタコン酸発酵、フォル酸発 (3) 酸 (3) 酸 (4) シェウ酸発酵、コウン酸発酵にども含まれ (4) 単型には主として酢酸脂やグルコン酸 (4) でよって砂酸発酵・シャ (4) で、この酸発酵・シャ (4) で、この砂酸発酵・シャ (4) で、このは、カナータルコン酸発酵、シャ (4) で、このは、カナータルコン酸溶酵・ (4) にとも (4) で、このが来ば、カナータルコン酸溶酵・ (4) で、このが未満 (4) で、このが未満 (4) で、このが未満 (4) で、このが未満 (4) で、このが未満 (4) で、このがます。 (4) ではいる。 なんかパナジウム 酸化— [**vanadium | cxide et Vanadium | cxide et Vanadiuoxyd] バナシウムは値 へい の原子面を示し、以下のことを酸化物が含む、 いっ マンシュ (**vanadiuo cxide)というとき、 たい を (**vanadiuo cxide)というとき、 たい きゃん (**vanadiuo cxide)というとき、 たい きゃん (**vanadiuo cxide)というとき、 たい きゃん (**vanadiuo dioxide)というとき、 たい きゃん (**vanadiuo dioxide)は、 (**vanadiuo dioxide)は、 (**vanadiuo dioxide)は、 (**vanadiuo dioxide)は、 (**vanadiuo dioxide)というというといるをでし、 (**vanadiuo dioxide)というというといるをでし、 (**vanadiuo dioxide)というというといるをでし、 (**vanadiuo monoxide et Vanadiuo (**vanadiuo monoxide et Vanadiuo (**vanadiuo monoxide et Vanadiuo (**vanadiuo cxideとは、 (**vanadiuo monoxideと、 (**vanadiuo cxideとは、 (**vanadi

[2] 酸化パナジウム(皿), 三酸化ニパナジケム, 三二酸化パナジウム, 三酸化パナジウム wanadium (面) oxide, divanadium trioxide, wanadium sesquioxide, vanadium trioxide, wanadium sesquioxide, vanadium trioxide and vanadin(面) oxyd. Divanadintrioxyd, Vanadintsesquioxyd, Vanadintrioxyd, Vanadint

と反応して五酸化物となり 3V₂0₄ + 6Cl₂ --- V₂0₄ + 4VOCl₃ 目熱時の V₂0₃ に アンキェアを作用させると盤 化パナッカ・ V をつく 5 確認 は R とんど の酸、アルカリド格けるが、硝酸は例外で育色 の溶液となる、フッ化水紫酸にも溶ける。

[3] 酸化パナシウム(W), 二酸化パナシウム[xvanadium(W) oxide, vanadium dioxide avanadiu(W)-oxyd, Vanadindioxyd) VO₂=82.95. 古くは四酸化パナツウム VO₂とよばれたともある。製法 等々ルはの酸化パナシケイ (W) O配合物を空気を断って誘熱して得る。性質 原色ないし暗降色の粉末状結晶。44.339. 磁点 1967. 結晶はイル型構造。 44.54, c.2.88 A. 酸, アルカリ

[4] 酸化パナシウム(V), 五酸化ニパナジウム ウム, 五二酸化パナシウム, 五酸化パナシウム (**vanadium(V) Oxide, divanadium pento oxide, vanadium pentoxide ab Vanadin(V) oxyd, Divanadium pentoxide ab Vanadin(V)oxyd, Divanadium pentoxide ab Vanadin(V)v₂O₃=181.90. 製法 低級酸化物, 窒化物 に し硫化物を空気中で熱して得る。 株質 熱いと さに赤質色的末で, 待えるとレンガ状赤色物に きに赤質色的末で, 45 えるとレンガ状赤色物に をは赤質色的末で, 45 えるとレンガ状赤色物に でいって分解し、酸化パナジウム 個になる。**た橋じて低酸酸化物を形成する。 は関係はないが、酪解すると導電性が現われる。 留化は来び、39×10⁻⁶。 m. u. 酸、アルカリには 移けるが, エタノールには溶けない、(電原原別)

をんかパインウムしよくばい 酸化 一一酸煤 は vanadium oxide catalyst w Vanadium xyd. katalysator] 酸化パナジウェ(Y) 棒媒は二 酸化イオウの酸化、ナマック リンまたはローキンレ のの他による糖水マル・酸製造、ペンポンの 酸化による糖水マル・酸砂造造、ペンポンの 酸化による糖水マル・酸の製造はた酸化炭 に用いられ、パナジャムの低砂酸化物 Y404. 17.0, はジオレフィンの部分未繋が加、チオフ Y.0, はジオレフィンの部分未繋が加、チオフ メ・の木葉を加分解れと、水鉄密加・用いられ、 ま、筋化石、カーボランデム、あるいはフッ 可製のものが使われる。また促進機あるいは因 石製のものが使われる。また促進機あるいは 石製のものが使われる。また促進機あるいは は体にメディナジウェ酸ア・キャム・水溶炭、 自体にメディナジウェ酸ア・キャム・水溶炭、 自体にメディナジウェ酸ア・キャム・水溶炭、 はたになれ、液酸化カリウェ酸ア・キャム・水溶炭、 はたになれ、液酸化カリウェ酸ア・キャム・水溶炭、 はたになれ、液酸化カリウェを関ア・キャム・水溶炭、 はたになれ、液酸化カリウェ酸ア・キャム・水溶炭、 はなになれ、液酸ので空気流中で能反してつくる。 木紫密加用の底砂酸化物は酸化・ナジャム(V). と、400~600°で空気流中で離皮してつくる。 木紫密加用の底砂酸化物は酸化・ナジゥム(V).

さんかパラジウム 酸化 — [*palladiumoxide ** Palladiumoxyd] パラジウムの結 木の酸化物としては PdO のみが知られており、PdoOs とは水化物のみが存在し、PdoO

と馬色的末とし得られ、酸により酸化パラジウェ(Ⅱ)とパラジウェになるといわれるが、存在 加熱するか、酸化パラジウム(Ⅱ)を赤熱する [*palladium suboxide @Palladiumsuboxyd] Pd₂O=228.8. パラジウムセ酸発気取中で 450° 雨敷化パラジウム は存在が疑わしい. [1]

(1段もしく、この四者の配合物といわれる. [2] 酸化パラシウム(II)、一酸化パラシウ B. ム、酸化的ニパラシウム [率palladium(II) b. oxide, palladium monoxide, palladous oxide mpalladium(II)-oxyd, Palladiummonoxyd, ampalladium(II) PdO=122.4. 製法 I) パ palladiumoxydul] PdO=122.4. 製法 I) パ により自然して忍元される。一般化以第により 100°以下で超元される。 酸に不溶。 オゾンと 水酸化カリケムにより パラジウム酸(N) カリク ムセ生する。 水化物 PdO・nH₂O については水 酸化パラジウムの頃を簡単。 <u>熱するとパラジウムと酸素になる。解離圧 760</u> ランケス海伯を登式中で700°からゆっくり840°まで温度を上げて白粒する。2) 路線 パラジン ム(II)を強熱する。 3) 塩化パラジウム(II)を 研設カリウムあるいは研修ナトリケムと600°に 加熱する。 佐賀 - 国色粉末、正方晶系、空間群 Din-P4/mmc. 格子定数 a 3.02, c 5.31 Å. 強 統領で水路 mm/875. 生成為 23.5kcal/mol.

= 260.8 権水物は得られていたい、水化物 製造 硝酸パラジウム (1) 溶液にオゲンの作用 または隔解酸化、性質 カツ色固体 不安定で 直凸、酸素圧 80 気圧で分解する、塩酸によく 溶け、不安定な PbC!。を生成する sesquioxide @Palladiumsesquioxyd] Pd.03 二般化パラジウム [*palladium [3]

oxyd, Palladiumoxyd] PdO₃=138.4. 無水物 は移られていない、水化物 PdO₃・nH₃O につい ては水酸化パラジウムの項を参照。(近暦64.) [4] 酸化パラジケム(N), 二酸化パラジケム,酸化酸二パラジケム [*palladium(N) oxide palladium dioxide, palladic oxide mPalladium(N)-oxyd, Palladiumdioxyd, Palladi-

さんかパラフィン 酸化一

か気を用いて酸化したパラフィンをおし、脂肪酸、アルコール、エメテル、ラフトン、米反応の数に水素などかの成る複雑なロケ酸組合的であるが、 栄養にはパラフィンの酸化により得にあるが、 製造、あらかじめ過れてよりが、 製造、あらかじめ過れてメリンの カックムと信頼、予備数化したパタノンド、カックムと信頼、予備数化したパタンのでの個数を超したから 100~6位数してその 30~50 のマンガンセッケンなどを使用する。酸化生成物をとり出し、炭酸ナトリウムを用いてケン化 し、ホケン化物を扱いたセッケンな分解して脂肪を得る。 住置・用途 も数額、匈数額およ %を数化する. このとき位牒として 0.5~1.0% [#oxidized 方数では paraffin thoxydiertes Paraffin]

ナー-トロプシュ合成*による合成パタフィンを

ぴ少量の分核酸を含有する.ドイツでフィッシ

原体として工業化され、おもにセッケン原料として治臨原料の植充に用いられた。 そのほか数 (区海松郡) 指袖原料としての用油もある.

800° に数時間が熱してつくる。2)工業的には 以酸:リケムと放棄の混合物を強熱してつくる。 積益 結晶はガンエン型構造。 格子配数 a 5.523 A. 結合間隔 Ba-O 2.76 A. 柱質 白 色等軸晶系の粉末 融点 1923。 沸点約 2000 d 5.72, n 1.98, 溶解度 水 ぴ, 1.5g/1008; 80°, 90.8g/100g:塩酸、硝酸および糖水エタ ノールに可容:液体アンモニアおよびアセトン 以上では再び酸化パリウムとなる. 水と作用すると多量の熱を出して木酸化パリウムとなる. 3) H oxyd, Baryt] BaO=153.36. 製法 1) バ リウムの硝酸塩, ヨウ素酸塩または水酸化物を に不谷.熱すれば過酸化パリウムになり,800° パリタ [* barium oxide, baryta ta Barium. さんかパリウム 酸化---, 重土, パライダ. (配川・功刀) 用途 1) 脱水剤 2) バリウム塩の製造

ら、フッ葉と酸素の化合物はフッ化酸素とよばれ、正しくはハロゲン化酸素(*exygen halo ide mHalogenoxyd] 酸素とハロゲン, 特に出来、臭味、ロケ素との化合物の総称、ハロゲンのラもファ素は酸素よりも際性であるか さんかハロゲン 酸化--- [*halogen ox· 9 ス工築で用いられる.

	2	1,00,	1,00=1(103);		(1,0,)	
Br ₂ O		BrO,	Br ₈ O,		Br ₂ O,	
0,12	000	CIO		CIO	Cl ₃ O ₃	(*010)
 OF.	Т	(0,F ₀)	Т			

4) 他の優化ペッケン・300では保存 たは優化 5) いずかかのかまれる「10の反 内がどのうち、いずかかの分形によってつくの れる。 他国 フッ紫に命む氏気体・超数化合物 はんの分十回の大小に成って液体・九く協力 現実およびョク数の代金がは破体・十人へ協力 な際化型であった。その大部のは原題・服所に な際に対し、他の際に他の保護の中間 が出て、他の際に他の保護の保護の保護をあったな おいくのみ安定・森下 CIO と 10 とは格しくト おいくのみ安定・森下 CIO と 10 とは格しくト は関係としてのか出のれている。フッ繋おけて に 供成めとしてのか出のれている。フッ繋おけて は関係しても物は投えに関しるとメパータトの他 協数の代も物は投えに関しるとメパータトの他 の簡単により線形する可能性があるが。ョッ繁 へ合物は推過でもかれり仮記である。。 よる元素間の低温での直接反応 2) オゾンと ハロゲンとの反応 3) 相当する酸素酸の脱水 4) 他の酸化ハロゲン, あるいは酸素酸の還元ま 示す. 製法 1) 故電あるいは深外線の助けに るが、その存在が疑わしいものは括弧に入れて (山帝秀雄)

酸化水素を加えたものを歳アンモニア本中に入れる。性質 カッ色固体、d 5.10、150°で酸素を1 原子、357°で2原子を失う。 起った大気中では BiO, H₂O になる。これは 120°で結晶水を失う。 d 5.75、希硝酸、希磁酸には不裕、设荷酸には余べに、減フッ化水凝酸には可符[5] その他の酸化物 1) BiO-=948.00. =498.00. 観法 1) 酸化ピスマス(田)を水酸 過マンガン酸カリウム, ヘギサシアノ鉄(田)酸塩などで酸化. 2) ピストス塩の酸性溶液に過 化カリウム水浴液中に懸菌なせて、塩紫ガス, [A bismuth(V) oxide, bismuth pentoxide Wismut(V)-oxyd, Wismutpentoxyd]

過酸化水浆を含む硝酸ピスマス溶液を沸騰した アルカリ水溶液に加えると生ずる. 2) BisOe= 214.00. 酸化ピスセス(田)にペルオクン川函数 アンモニウム,またはヘキサシアノ鉄(田)数カ リウムを作用させたときに少量生ずる

oxide ヒ聚の酸代物の調整. 状の ような化合物が知られている. [1] 三酸化二 ヒ素*[**diarsenic trioxide 曲 Diarsentrioxyd] # arsenic さんかひそ 酸化砒素 ⊕ Arsenoxyd]

(太町兵器)

3 価と5 価と発の混合酸化物と考えられ、三酸化二と素と五酸化二と素の当量混合物を熱して 四酸化二七苯,四酸化七聚 [*diarse-⊕ Diarsennic tetroxide, arsenic tetroxide 12 Diarser tetroxyd, Arsentetroxyd] As20,=213.82. [2] A S₂O₈.

[3] 五酸化二ヒ素*[英diarsenic pentoxide ⊞Diarsenpentoxyd] 得られるという.

さんかビニル 酸化—— [*divinyl oxide [★ oxidation As206. (石森建二醇) ⇔Divinyloxyd] == ピニルエーテル

四略 1 CoHoAsO=168. 観沫 ジクロル フェニルアルシンを炭酸ナトリウム # Phenylarsenoxyd 四个—— 克米 さんかひょうはく 酸化源白 [** bleaching 曲Oxydationsbleichen] さんかフェニルひそ phenylarsenic oxide As O

さんかフェノール 三角---・トリフェノー (成成千代粒) を生ずる

но-∱

TDDFROY ##DEFD#12

础集) [*bis(dimethylarsenic) oxide 曲Bis-[* bismuth 種々の酸化物が存 さんかピス(ジメチルひそ) 酸化——(— (dimethylarsen) oxyd] 💳 戯化カコジル

さんかどスマス

酸化ビスマス(本 bismuth suboxide)という名 特は,はじめBiOという組成の化合物に対して 与えられたが、その後この物質の存在に疑問を 生じた。現在では BiO をますことが多いが、ま ぎらわしいから用いないほうがよい。[1] 酸 化エスマス(1), 一酸化ビスマス [本bismuth を生ずるといわれたが, 前者は Bi と BiO との。 確合物ともいわれている. 性質 灰色粉末 41°7.53~7.201. 磁化率メー0.458×10-6。m.u. 木に離絡, 酸化されやすい. 塩酸と不均化反応 在するが,普通は酸化ピスマス(皿)をさす.亜 (II) oxide, bismuth monoxide 歯Wismut (II)-oxyd] BiO=225.00. 製法 1) 硝酸ビス マスに水酸化カリウムを加えて生じた水酸化物を塩化スズ(II)で溜元してつくる。 2) オキシ シュウ酸ピスマスを加熱すると二酸化炭素を発 生して, Bi₂O(C₂O₄)₂ の組成の化合物からは Bi₂O₂, Bi₂O₂(C₂O₄)の組成のものからは BiO oxide # Wismutoxyd]. ヤナる

[2] 酸化ピスマス(国), 三酸化ピスマス (英bismuth(国) oxide, bismuth trioxide 曲 Wismut(II)-oxyd, Wismuttrioxyd] Bi₂O₁= 3BiO + 6HCl - 2BiCls + 3H2O + Bi

muth tetroxide 歯 Wismut(N)-oxyd, Wismutetroxyd] Bi₂O₄=482.00, 存在については取わしいところもある。 製法 1) 酸化ビスマス れて三酸化物になる、弱い酸としての性質をもち濃い酸には溶ける、硝酸溶液はきわめて強い酸化力を有する、塩酸と反応して塩素ガスを生酸化力を有する、塩酸と反応して塩素ガスを生 [3] 酸化ピスマス(N) 昭酸化ニピスマス, 四酸化ピスマス [英bismuth(N) oxide, bis-2) 酸化ガスセス(田)のアルカリ性溶液に塩素 ガスを通ずる. 3) 硝酸ピスマスのアルカリ性 谷夜を電解する。 4) 酸化ピスマス(田)の水酸化カリウム溶液にベルナクソ二硫酸カリウムを 加える,性質 2分子の結晶水を含む固体は質カッ色粉末,100°で水を失い,305°で酸紫がと (田)を水酸化ナトリウム溶液中で沸騰させる. 来,水珠によって強元される.

[4] 酸化ピスマス(V), 五酸化ピスマス

(力本・池田・師・子八巻) 止煎として発名である. **キン七ド**

B₀)=69.64、製法 ナウ酸を白金ルッポ中で B₀0=69.64、製法 ナウ酸を白金ルッポ中で 所服 このようにしておられたものはガラス状で、毎回透明、壁くまたも かい、 融点 577、 海点 1507、以上、 d 1.85、 n c 1.459、 な器付近での比別 0.2574 生成的 30.0 以 kcallmol. 空気中よりボルケを吸収しやすい、 帝 解仮 で、1.18/100 ml: 100°、15.78/100 ml. 所 破、 アルカリ、ユテレングリコールなどにも可 6. お、 このよれを代してかない。 音 これなどにも可 6. お、 このよりを代している 15.78/100 ml. に 破、 アルカリ、ユテレングリコールなどにも可 6. お、 このよりを化せいが 15.40 ml. に 根本すると単純性はない、 常理性、 水に入れ るとまずメラチの酸となり、それからオルトボの酸となって水に部けるが、後段の反応が特徴の数略となる。フッ安とは常温で光を形して強い、作用してフッ化ホウダモの数字とになる。はのロッケンとはか変を生する。 遠面酸中では大路でしてフッ化ホウスを生する。 適面酸中では大路でしたシールをしょうが、このとき HB(HSO₁) という形をしまるに、 キウ酸ニエチルを生ずる、ほかのフルコール類 のエステルも同僚にして得られているものが参 い、ギ酸ナトリウムと加熱するとホウ茶に超元 する、高温のアンモニアや塩化アンモニウムと作用すると窒化ホウ架を生する、シアン化カリ ウムや現業と遊出しても盛化ホウ茶を生ずる. アルカリ金属やアルカリ土金属と反応すると、 これらのホウ化物を生ずる. 割官中でエチルア ルコールと 120°に加熱するとオルトホウ酸と に三酸化ニホク素をさす。三酸化ニホク素,三酸化ホク素,三酸化ホク素,無水ホウ酸(本diboron trioxide) boron trioxide, boric (acid) anhydride 📾 Di-(新国一次) BBoroxyd] 二酸化ニホク茶 B₂O₂、三酸化 四ホウ茶 B₁O₂・2 H₂O, 五酸化四ホウ茶 B₁O₃ な ども存在するが,単に骸化ホウ茶といえば一般 [* boron oxide bortrioxyd, Bortrioxyd, Borsäureanhydrid) さんかほうそ 酸化硼素 される.

製法 木酸化物、シュケ酸塩、硫酸塩化とを始低すると得られる。 柱質 攻撃の、結晶型に移動品を整備よるシンジュ型酸強。 格子原数 [* holmium $\text{Ho}_2\text{O}_3 = 377.88.$ さんかホルミウム 酸化一 oxide @Holmiumoxyd]

属マグネンウムを空気中で熱すると得られる。 2) 故酸マグネンウム, ヒドロオキン炭酸マグネ magnesiausta)ということもある. 製法 1) 金 シウム、木酸化マグネシウムを熱分解してつく magnesium oxide @Magnesiumoxyd, Bit-Mg0=40.32. 工策製品をマグネ シナとよび、 困惑としてマグネシア ウスタ(曲 (独田社社) さんかマグネシウム 酸化---, 岩土 a 10.58 Å. d 8.36(計算值). tererde]

になる. イオウと加熱すると二酸化イオウとオ

子定数 a 4.203 Å. 结合间隔 Mg-0 2.10 Å.

位置 白色無定形の粉末であるが、ボウ酸塩と 路解した数から幹輪晶系の結晶が折出する、路 点 2800°, 沸点 3600° d 3.65° n 1.7364. 出 数 0.232 cal/g deg(50°) 辞解改 水 0.62mg/ エタノールに不裕. 空気中では水および二酸化 100g:酸およびアンモニウム塩水溶液に可溶: 以茶を吸収して徐々にヒドロオキシ以酸マグネ シウムに変化する:

4 Mg0+3 CO1+4 H20

水と反応して水酸化マグネンウムを生じ、酸に 耐解してマグネンウム塩となる。 用途 1) 耐 火物材料,ルッポ材料 2) マグネンアセメント の材料 3) ゴム工数 4) 勉媒,収貨剂 5) 図 (宮川・清水) -3 MgCO3·Mg(0H)2·3 H20 **五質は容積が小さいので内用散剤に使** 8,1月18. 下剤. 用盘:1回18,

カッ色ないし風色の顔を生成する、水素中で260°な超元してつくったものは 140° セ火花をおしてあるけ 140° セ火花をおして酸化され、シェウ酸塩を 200~420° F加酸して母たものは熱すると発火して酸化コンガ ン(N)センガン(II)を生ずる、水ボ不利。 水により分類しない、水類気中で赤型すると水 紫と酸(センガン(N)センガン(II)とになる。 1100~1200° で炭素により超元されてモンガン ンガン(田)を生する、高設酸化物を水楽により低温で選元してつくったものは、アルカリが存 在しなければ空気中で自然酸化されないが,酸量のブルカリが存在すると空気中の酸素により ュウ酸マンガン(II)などを空気を断って加熱 る、2) マンガンの高級酸化物を水梁あるいは 一酸化炭素で還元する、性質、灰器のないし軽 質色の粉末あるいは結晶、結晶は正八面体、ガ 隔 Mn-O 2.22 A. 酸素を吸着しやすく相似は MnO, ns まで変化する. d 5.18. 独点 1650° カタサ 5~6. 生成熱 93.1 kcal/mol. no 2.16. きわめて還元されにくく,1200°でも水楽によって還元されない.酸素中で加熱すると酸化で ンエン型構造*. 格子定数 a 4.436 Å. 結合III oxide mMangan(II)-oxyd, Manganmono-xyd, Manganoxydul]、MnO=70.94, 存在 天然にマンガノーサイトとして隆する。 製法 1) 以酸マンガン(II)、水酸化マンガン(II)、ツ 一般化マンガン、酸化シガン、酸化ダーエンガン、 開酸 化・フガン、 「薬 manganese(II)oxide、 manganese monoxide、 manganous がある. MnOs は存在が疑わしく, MnOs は存 さんかマンガン 酸化—— [森manganese oxide m Manganoxyd] マンガンの酸化物には MnO, Mn3Os, Mn2Os, Mn2Os および Mn2Os 在しないといわれる. [1] 酸化マンガン(口).

キシ硫化物とを生ずる.塩酸,硫酸および硝酸 に浴けて相当するマンガン(II)塩を生ずる. 塩化アンモニケムの熱濃溶液に溶け, アンモニア を発生して塩化マンガン(Ⅱ)を生ずる. 水化物 については木酸化マンガンの項を容照。

[2] 四酸化三マンガン [本trimanganese tetroxide 每Trimangan tetroxyd] Mn,04 → 酸化マンガン(N)マンガン(I)

中で注意深く加熱するか、オキシ水酸にレンガン(国)を真安中で 250° で既水すると 最初に得られる、体質・暗カッ県色ないし解灰色塩または結晶。 4 型は安定形で等輪晶系に属し、格子 子定数 a 9.41 Å. γ は正方晶系に図し、a:c マンガン(Ⅱ)の格子と同じでマンガンの不足数 5. 1 変應: 枕殿した酸化マンガン(Ⅱ)を酸塩 は酸化スカンジウム型構造*、空間群 T,, 桁 =1:0.9928, 不安定で長時間加熱すると不可 逆的に a に移る. 7 の格子は酸化マンガン(N) Mn₂O₃=157.88. α と アの2変態があり, α は 天然にプラケン紅として確する. αは2価マン ガンと1価マンガンを含み,7 が其の酸化マンガン(皿)といわれる.製法(α変態:酸化マン ガン(N)を空気中で 530~940° に加熱するか. マンガン(Ⅱ)塩を酸落あるいは空気中で白熱す manganese sesquioxide, manganic oxide 🕮 Mangan(田)-oxyd, Dimangantrioxyd, Mangansesquioxyd, Manganioxyd, Manganoxyd] 三二酸化マンガン,酸化第二マンガン [* man· [3] 骸化マンガン(田),三酸化ニャンガン, dimanganese trioxide, ganese(III) oxide.

覧気を通す、比単電車 0.16 mho/cm(39)、熱に対する安定度は製法により軽なり、硝酸塩からつくった数も純粋なものは 530°でも酸素を発 質 灰色ないし灰黒色粉末、正方晶系に属し、結晶はルチル型構造* 格子定数 04.44.2.89 Å. 空間時 Din. d 5.026. 生成熟 125.4 kcal/ 磁化率 X 38.4×10-6e.m.u. (21º).かたり m Mangan(N)-oxyd, Mangandioxyd] MnO =86.94. 存在 天然にパイロルースとして喧ける. 製法 1) 硝酸マンガン(II)を150~200° [*manganese(N) oxide, manganese dioxide で長時間加熱する. 2) 段酸マンガン(Ⅱ)と塩 紫酸カリウムの混合物を 300°に加熱する。性 [4] 酸化マンガン(N), 二酸化マンガン 化物については木酸化トンガンの項を参照.

ナウと硫化マンガン(II)とになる。 炭紫と商品 に回動す るとマンガンに、一酸化炭素と 420° に加熱すると敬化マンガンに、一酸化炭素と 420° でも分解する. 解離氏 2mm/410・763 mm/668。 水茶と加熱すると約 200° で酸化マンガン(国) あるいは酸化マンガン(N) マンガン ほとんど溶けないが、希酸の存在で湿元剤により還元される: 他のものは 300% あるいは 200° (Ⅱ)を生ずる.イオウと加熱すると二酸化イ 生しないが,

も谷服)、田油 トンガンおにひょンガン塩の同学、レンガン館、敬代館、キッチ、枕尾箱の食物館、 インキおよびァーメの花袋 出して、 過酸化水素および塩素酸カリウムを被触分解する.塩基性酸化物と酸解すると亜マンガン酸塩 となる(水化物については水酸化マンガンの項 また栄料、資料、廃棄、ガラス工物(ピンガラスの数色剤)において広く用いられる。 一 昭 MnO₃+H₂O₂+H₂SO₄ -- MnSO₄+2H₂O+O₂ MnO₂+2 H₂SO₃ — MnS₂O₄+2 H₂O MnO₂+4 HCl — MnCl₂+Cl₂+2 H₂O

drid] MnOs. 過マンガン酸カリケムを濃菌酸 に溶かして得られる緑色溶液を以酸ナトリウム に適下すると: manganese trioxide, manganic (acid) anhydride @ Mangantrioxyd, Mangansäureanhy-三酸化センガン、 無水トンガン酸 解二酸化センガン [2]

- Na₂SO₄+CO₂+1/2 O₂+2 MnO₃ (MnO₃)₂SO₄+Na₂CO₃

赤色蒸気が発生し、これを染剤で冷却すると暗赤色固体が得られ、その性質が結水マンガン酸に相当するといわれたが存在は疑わしい。 [6] 酸化マンガン(M)、七酸化二マンガン、 (M)-oxyd, Dimanganheptoxyd, Überman-gansäureanhydrid] MntO;=221.88. 七酸化 マンガンともいう。製法 過マンガン酸カリウムの粉末を少量ずつ冷却した機能酸に加えると 緑色溶液が得られ、これに注意して冷水を加えると析出する(緑色溶液は (MnOJ):SO を含む 七二数化トンガン, 街木過トンガン酸 [*man· ganese(M) oxide, dimanganese heptoxide, permanganic (acid) anhydride 😝 Mangan

2 HMnO4+H2SO4 -- (MnO3)3SO4+2 H2O 2 KMnO4+H;SO4 -- K2SO4+2 HMnO4 (MnO₅)₂SO₄ + H₂O -- H₂SO₄ + Mn₂O₁ と権定されている):

性質 時録カッ色油状液. d 2.4. 生成熱 165 液体空気の温度で暗録色結晶となる. 0°,15mm Hg で空気気道中で徐々に蒸発する.—2*まで安眠。0º で酸紫を数ちはじめ,10º で強しく分解 して酸化マンガン(N)と酸素とになる. より荷温では火を発して優無するといわれる. 空気中 で徐々にオゾンを含む酸紫を発生して分解する kcal/mol. 解離压 0.5 mm/10°; 593 mm/21°

数合品、粘性、比肌が大きい、ケン化面は酸化の初期には一時増すが大いで減少する。 遊覧に 化学文化を起こして粘ちょうな袖になる。 元の尚に比べると二重結合の含度は少なく、オキツ 大豆油などの不飽和油はこれを故図すると空気中の酸素を吸収し、酸化蛋合*を主とする複雑な 5 酸化不飽和油脂類の総称、魚油,

キンセコク

盤化した前は優色で導しく結ちょうとなる。 [2] 吹込油、吹入油 [#blown oil] 松佳 当または単位住前を 90~130~に到他したがら空気を吹き込んで、ある程度能では近に田舎を掲にさせ、 枯度を揺がきまた部、元の前にはくる と一般に演色で遊園酸含量が大きい、 比面は 1 近い値になる、首本、数数首の製造に用いる。

する発生期の酸素の酸化力によって飲料を溶解するのが特徴である。As, Sb, Cr, Fe, Mo, KNO, Na₂O, ZnO または MgO な必要に応 じて強択併用する. この随解は熱分解の結果生 Zr のような低原子価酸化物、磁化物、ヒ化 [# oxidizing 酸剤を用いる陰解法. 炭酸アルカリに KC101. fusion @Oxidationsschmelzung] などの融解に遊する. たとえば さんかゆうかい 酸化酸解

- 2 NasVO.+3 COs1 V₂O₃+3 Na₃CO₃+2 O 2 Cr203+4 Na2CO1+6 O

- 4 Na2CrO++4 CO21

5. しかしルッポの投稿がひといので、これを最和するためにしばしば水酸化ナトックムが囲用される。上記のもののほかに Ni U.Sn などの低物やファイをの配輌に置する。自会(水の低物やファムを金の脳輌に置する。自会(水 単独に用いれば前配酸化酪解より更に強烈とな なお NasOs は強烈な塩基性酸化酶剤であり、

[¥ 0xi 金, 鉄, ニッケル, 銀ルツボを用いる (東野和島) 選1 段化ナトリウム、過酸化ナトリウムには不適) dizing flux @Oxydationsflussmittel] さんかゆうかいざい 酸化酸解剤

韓寅 - 校江色的末、製法によって参少異なったのと示す。 加熱温度によって製三方晶系と等軸晶系の2種の変質が得からいる。 校舎の結晶強適高系の2種の変質が得から、技術の結晶強適 は酸化スカンジウム型構造* 格子定数 a 10.79 🎏 europi-ゥム(田)ナなわち酸化ダニューロピウムのみが 知られている. Eniの1=355.0. 製法 ジュウ酸 製化リーログ 塩、硝酸塩を比較的低温で加熱すると得られる。 さんかユーロピウム 酸化--oxide mEuropiumoxyd] Ē

さんかようしょくばい 酸化用触媒 [*catalyst for oxidation wa Katalysator fur Oxy-砂化反応はその葡萄が多く、それら に用いられる触媒も多似である。 代数的なもの な例示すれば次数のとおりである。 A. d #1 7.42. dation

R	SO2SO3	1	市坊鉄炭化水業または汚着鉄橋 肉アルキル → 過酸化物、アル	レステストーが報		ニャトン 一通報代数	1 () () ())C*C(>C-)C	7.00-10-	ול, עו	44-V7-44	SO, 1-SO,	ナンガロンー一葉や	SO SO.
保化剂	#	松	**	*	4 年	過機化水素	過酸化水素	過跌完水業	松	製			推	
#	一般化資素	見化水井	ロバルト語	3	トンガンを	**	格化ナスミクナ(値)	>#4	96	Ø		40 48	あた、ナジ ケム(V)	
整		瓦心用 均一粒纸	_	以体页		£	<u>*</u>		K	体反応	用水物	11	建	

ヨウ茶と酸素とを熱すれば質色の気体として得られるといわれ、また有機ヨウ素化合物の光酸化の腐中間に生成するといわれるが、その存在は疑わしくビリジンとの付加化合物のみが知られ疑わしくビリジンとの付加化合物のみが知 国 lodoxyd] ョケ桜の数代物の中が杵の船域たのは 150/(3,5 佰), 150/(5 佰), 170/(3,5 佰), 170/(5 佰), 170/(3,5 佰), 170/(3,5 佰), 170/(3,5 佰), 170/(3,5 佰), 170/(3,5 佰) 1,0,10,1,0,10,11、寸れもその存在が確実で たい. [1] 一酸化ニョウ素 [*di-iodine monoxide 母Dijodmonoxyd] 1,0=269.82 [# iodine oxide さんかようそ

曲 Jodmonoxyd] 10 はスペクトルの研究から その存在が推定せられ、150%はヨウ紫の酸化の 2] 一般化ヨウ緊 [*iodine monoxide 路中間に生成すると考えられている

[3] 三酸化二ョウ紫 [*iodine sesquivoxide majodsesquioxyd] 1½02=301.82. 遊 韓の状態では得られず、1203·SO3, 1303·4SO3 H₂O のような付加化合物のみが知られている. 1 海製=7班

ョウ素酸を濃硫酸に溶かし,酸素およびヨウ素 を発生するまで煮沸すると黄色沈殿として得ら 反母性, 母化年 X -76.0×10-e.m.u. 7セト ンにあ路・オタノールに不路:各水に敷格・粒 1204=317.82. 製法 れる. 性質 黄色結晶. 空気中で安定. dig 4.2. E Dijod-構造はヨウ素酸ヨージルIO(IOs)と考えられる. [4] 四酸化二ョウ聚,二酸化ョウ聚 di-iodine tetroxide, iodine dioxide tetroxyd, Joddioxyd]

(新田本治)

.. KP 水で分解してヨウ茶とヨウ茶殻とになる、固体を加熱すると 85° より分解しはじめ、135°ですみやかにヨウ茶と五酸化ニョウ茶とになる、酸塩酸と反応して塩炭や毎年して塩化ヨウ茶を生せる ずる。硫酸によりヨウ寮とヨウ寮酸に,水酸化カリウムによりヨウ寮酸カリウムとヨウ化カリ カムとになる. シュウ酸と反応してヨウ茶を生

化二盤茶で酸化する。 2) 原子量部に用の純五酸化二ョウ素は純ョウ素な、 再結晶した過マンガン酸カリウムで酸化してヨウ茶酸カリウムと し、次にヨケ索醇パリウムを沈暇させ、硫酸で ヨケ素酸とし、再結晶を繰り返し、200°で脱水する。3) 有機ヨケ素化含物,たとえばヨウ化メ <u>*</u> æDi 製法 1)ョウ架を二酸化塩素、硝酸または五酸 $I_2O_5 = 333.82.$ [5] 五酸化二ョウ茶,五酸化ョウ茶 チャンの光散化により高収率で得られる di-iodine pentoxide, iodine pentoxide jodpentoxyd, Jodpentoxyd]

CH,1,0, -- HCHO+1,0 CH213+03 -- CH21202 1:0+20, - 1:0,

すると水とヨウ素になる、塩化水素とは値らに 反応して水と三塩化ヨウ素に、硫化水素とは酸 しく反応してヨウ素、イオウ、ヨウ化水素、水 を生ずる、酸化酸液は五酸化二酸薬に酸化され 水および者虹段に容易に溶けてヨウ紫酸になるが、酸の濃度が増すと溶解度は減少する。 密解 度 水 13°187、48/1008、透酸化剤で水茶と類 ク案は五岐化ニョク案に吸着されてカッ色を呈 5. 一酸化炭素とは65~70°で反応し始める; り酸素とヨウ案とに分解しはじめ、生成したヨ kcal/mol(251). 熱すると融解せずに, 275° 1. する. 日光により常温で同様の分解が起こる. 性質 · 白色結晶· 無臭· d²⁵ 4.799. 生成熟 42.

五酸化ョウ紫と二酸化ケイ茶および濃硫酸との 配合物は窒温においても一酸化炭素を定量的に 酸化する、水化物:31,00.H3の および1,50.H3の がある、前着は ロケ紫酸を 70° で酸水するか。 ヨウ紫を発性弱酸で酸化し、生成物を 50~60% 軽酸から再結晶して得られる。 毎色板状晶、単 約晶系 a b: c=0.901:1:0.891, 身 112°53'。 4 4.734. 用途 五酸化ニョウ素は一酸化炭素 四塩化炭素, キスゲン, 二酸化イオケ, 二酸化 の複出および定量に用いられる. メタン,塩素, 1:09+5 CO - 11+5 CO1 **窒素などは妨害しない.**

な合む空気を過ずるか、ヨケ紫のクロロボルム | たんかランタンがたこうぞう 酸化:または四塩化炭素溶液にナゾンを過ずる. 乾買 | 造 [**lanthanum oxide structure が発生するまで加熱し,生成物を硫酸で洗い税 像する. 2) ヨウ繋を反応管中で加熱し.オゾン [6] 九酸化四ヨウ素, ヨウ紫酸ヨウ紫 [** 製米 1) ヨケ斑酸を繰りン酸に溶かし,ヨケ斑 Fetrajodenneaoxyd, Jodjodat] I₄O₆=651.64. iodate iodine tetraiodine enneaoxide,

対白色粉末. 吸る性. 構造はヨケ茶酸ヨウ素 1(10s)zと考えられる. 加熱すると 75° より分解 しはじめ, 120~130° で次のように分解する:

塩酸と反応して塩紫を発生して塩化ヨウ葉にた 41,0, - 61,0,+21,+30,

分解は3段に進行する。第1段の生成物は1(10s)。の式に対する強力な証拠である; 1,0,+18 HCl -- 4 ICl +9 H₂0+7 Cl₂ 木と反応してヨウ楽とヨウ栄養とになる.

31(10₃)₃+9H₂O -- 31(0H₃)+9HIO₃ 31(0H)3 -- 2 HIO3+HI+3 H3O 5 HI + HIO, - 3 H2O + 3 Is

ウ繋ぶ気と酸楽との混合物に信声数阻を行なう とき、または七酸化二塩紫とヨウ楽とが光により反応するとき生ずる白色粉末が、このもので [7] 七聚化二ョク班 [**di-iodine heptoxide 智Dijodheptoxyd] I207=365.82. m

Ø Jodtetroxyd] 10,=190.91. 過塩茶酸銀をョ か繋のエーテル溶液に作用させると無色のエー [8] 四酸化ョウ素 [*iodine tetroxide あろうといわれている. ケル溶液が得られる

分解しやすく, 空気に触れると直ちにョウ素と 酸素とになるといわれるが, その存在は明らか AgC10,+1/21, -- Ag1+C10, C10,+1/21,--10,+1/2Cl; ただい

ウム、プラセンシム、オナジムなどの酸化物に り脂肪性が低く、アンチェンボに匹酸する、ボ や二酸化炭素を吸収しやすく、空気中で水酸化 物と炭酸塩を生する、炭酸アクカリまたは水酸 パファカリに虫時間数十とコンダン酸塩や出する、糖面線は空中で回路するこの皮質を出す。 格子中の化学単位 1. 格子定数 a 3.945, c 6. 151 A. 融点的 2000° 沸点 4200°(推定), d¹⁸ 6.51. 水に離谷:無機酸, 95ペニタノール, 塩化アン モニウム水溶液に易容:アセトンド不裕, セリ 法 金属ランタンを乾燥酸素または空気中で悠然するか、ランタンの水酸化物、炭酸塩、硝酸塩、硝酸塩、硫酸塩、シュウ酸塩などを強熱しても得られる、性質、純白色の六方晶系に属する結晶。 セリウム、プラセオジム、ネオジムなどが最近 推定される酸解生成物が得られるが、その組成 は既らかでない、用途 光学ガラスの原料, pH 測定用ガタス電極材、密電器材、金属ランタン の製造原料など,近年その用途は広くなってい 健在すると第色する. 空間群 D¦1-C3m. 単位 oxide talLanthanoxyd] La2O3=325.84. さんかランタン 酸化・

さんかランタンがたこうぞう 酸化——型構 m Lan

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.